

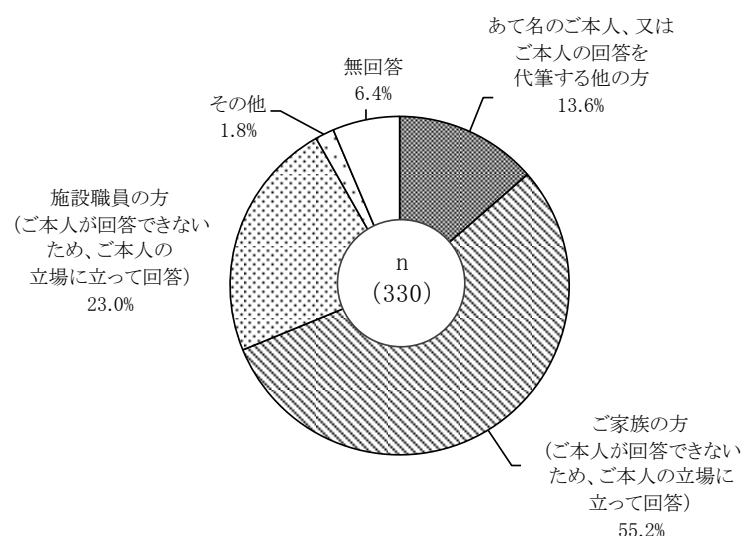
2 施設に入所している方を対象とした調査

2 施設に入所している方を対象とした調査

(1) 回答者について

問1 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(○は1つ)

「ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「施設職員の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）」の割合が 23.0%、「あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方」の割合が 13.6%となっています。



【障害種別】

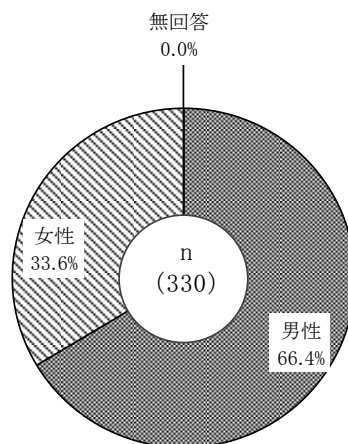
単位 上段:件、下段:%

	調査数	あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方	ご家族の方	施設職員の方	その他	無回答
全 体	330	45	182	76	6	21
	100.0	13.6	55.2	23.0	1.8	6.4
身体障害	126	23	70	21	2	10
	100.0	18.3	55.6	16.7	1.6	7.9
知的障害	260	29	143	70	5	13
	100.0	11.2	55.0	26.9	1.9	5.0
精神障害	35	4	17	13	1	-
	100.0	11.4	48.6	37.1	2.9	-
難病	7	2	5	-	-	-
	100.0	28.6	71.4	-	-	-
無回答	6	1	3	1	-	1
	100.0	16.7	50.0	16.7	-	16.7

(2) 本人について

問2 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

「男性」の割合が 66.4%、「女性」の割合が 33.6%となっています。



【障害種別】

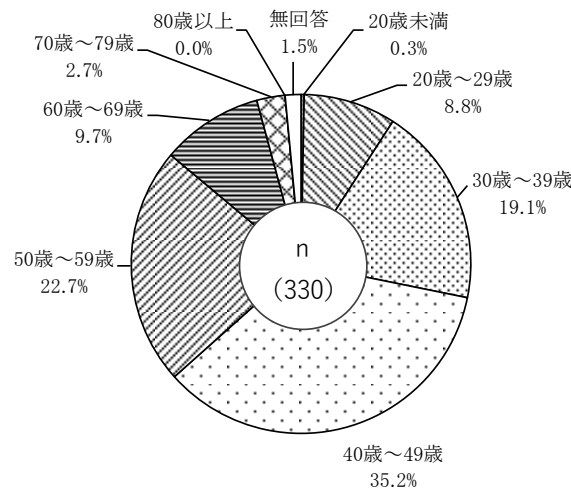
単位 上段:件、下段:%

	調査数	男性	女性	無回答
全 体	330 100.0	219 66.4	111 33.6	— —
身体障害	126 100.0	72 57.1	54 42.9	— —
知的障害	260 100.0	178 68.5	82 31.5	— —
精神障害	35 100.0	21 60.0	14 40.0	— —
難病	7 100.0	1 14.3	6 85.7	— —
無回答	6 100.0	2 33.3	4 66.7	— —

問3 あなたの年齢について、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

「40～49歳」の割合が35.2%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が22.7%、「30～39歳」の割合が19.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「50歳～59歳」の割合が増加しています。また、知的障害のある方では、「50歳～59歳」の割合が、精神障害のある方では、「40歳～49歳」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	平均
全 体	330 100.0	1 0.3	29 8.8	63 19.1	116 35.2	75 22.7	32 9.7	9 2.7	—	5 1.5	45.9
身体障害	126 100.0	—	9 7.1	19 15.1	43 34.1	31 24.6	19 15.1	4 3.2	—	1 0.8	48.3
知的障害	260 100.0	1 0.4	28 10.8	56 21.5	94 36.2	56 21.5	16 6.2	7 2.7	—	2 0.8	44.5
精神障害	35 100.0	—	2 5.7	7 20.0	14 40.0	5 14.3	4 11.4	2 5.7	—	1 2.9	46.5
難病	7 100.0	—	—	—	3 42.9	2 28.6	2 28.6	—	—	—	53.1
無回答	6 100.0	—	—	—	1 16.7	2 33.3	1 16.7	—	—	2 33.3	53.0

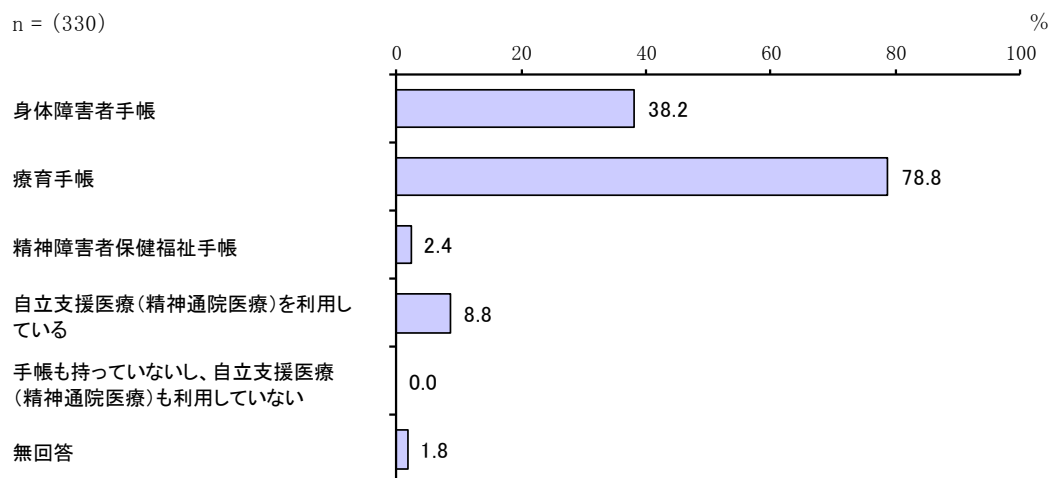
【平成28年度調査】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	平均
全 体	568 100.0	1 0.2	58 10.2	115 20.2	212 37.3	89 15.7	54 9.5	27 4.8	6 1.1	6 1.1	45.6
身体障害	246 100.0	1 0.4	15 6.1	45 18.3	84 34.1	47 19.1	31 12.6	15 6.1	3 1.2	5 2.0	48.0
知的障害	409 100.0	1 0.2	53 13.0	95 23.2	157 38.4	57 13.9	27 6.6	15 3.7	3 0.7	1 0.2	43.5
精神障害	34 100.0	—	2 5.9	8 23.5	11 32.4	6 17.6	6 17.6	1 2.9	—	—	46.6
難病	43 100.0	—	2 4.7	9 20.9	15 34.9	11 25.6	4 9.3	2 4.7	—	—	46.9
無回答	12 100.0	—	1 8.3	1 8.3	3 25.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	—	1 8.3	51.8

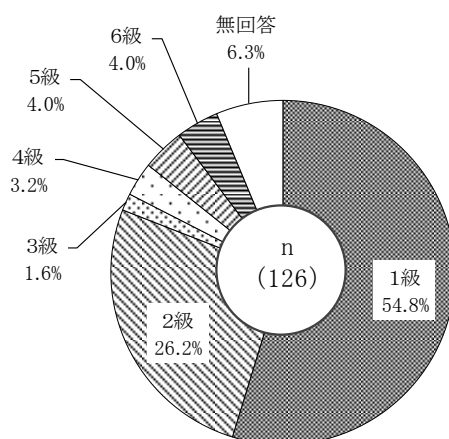
問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。）

「療育手帳」の割合が78.8%と最も高く、次いで「身体障害者手帳」の割合が38.2%となっています。



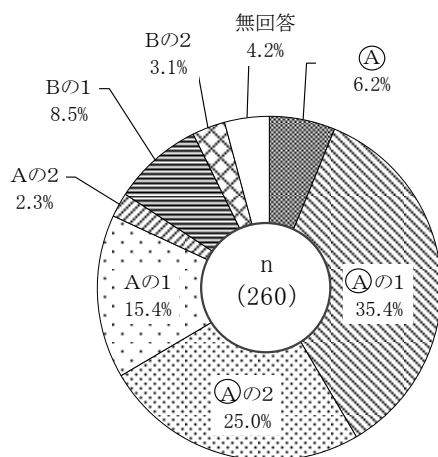
1. 身体障害者手帳

「1級」の割合が54.8%と最も高く、次いで「2級」の割合が26.2%となっています。



2. 療育手帳

「㊤の1」の割合が35.4%と最も高く、次いで「㊤の2」の割合が25.0%、「Aの1」の割合が15.4%となっています。

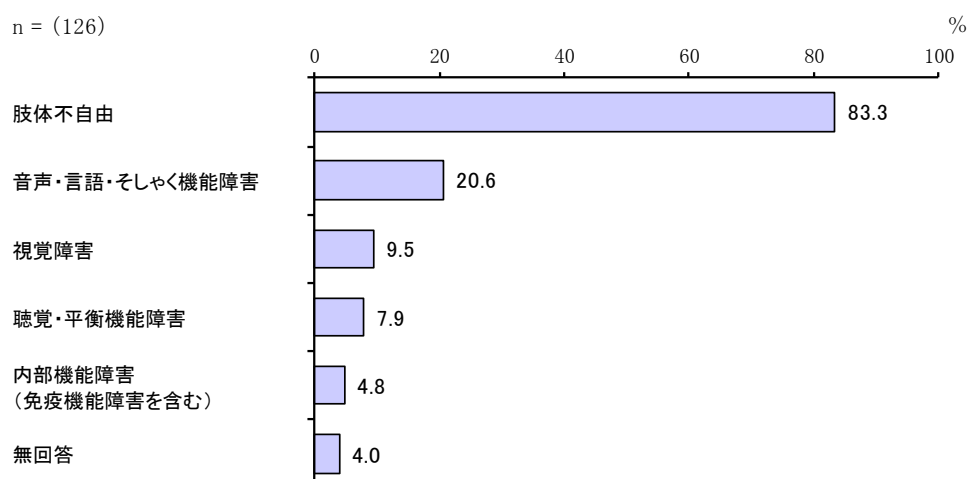


3. 精神障害者保健福祉手帳

「1級」が5件、「2級」が3件となっています。

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。
(〇はいくつでも)

「肢体不自由」の割合が83.3%と最も高く、次いで「音声・言語・そしゃく機能障害」の割合が20.6%となっています。



問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

1. 国が指定する特定疾患

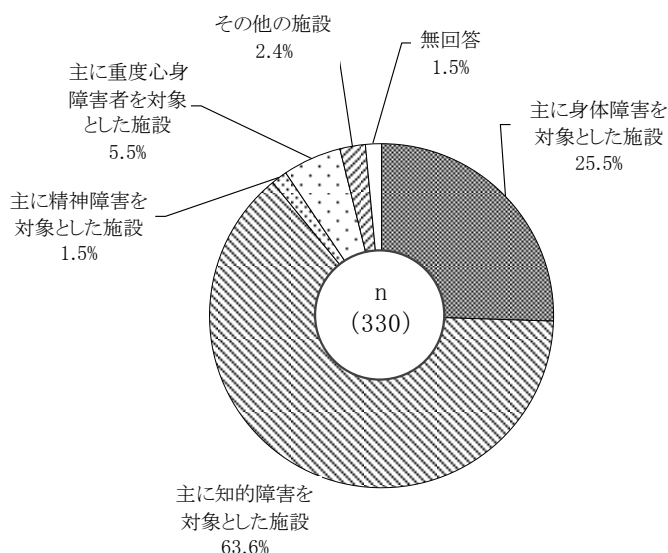
病 名	件 数
レット症候群	1 件
エプスタイン病	1 件
下垂体前葉機能低下症	1 件
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	1 件
筋ジストロフィー	1 件
脊髄小脳変性症	1 件
合計	6 件

(3) 施設への入所について

問7 あなたが入所している施設の種類をお聞きます。(○は1つ)

「主に知的障害を対象とした施設」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「主に身体障害を対象とした施設」の割合が 25.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「主に身体障害を対象とした施設」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	主に身体障害 を対象とした施設	主に知的障害 を対象とした施設	主に精神障害 を対象とした施設	主に重度心身 障害者を対象と した施設	その他の施設	無回答
全 体	330 100.0	84 25.5	210 63.6	5 1.5	18 5.5	8 2.4	5 1.5
身体障害	126 100.0	79 62.7	28 22.2	1 0.8	12 9.5	5 4.0	1 0.8
知的障害	260 100.0	29 11.2	205 78.8	3 1.2	12 4.6	7 2.7	4 1.5
精神障害	35 100.0	5 14.3	24 68.6	1 2.9	3 8.6	2 5.7	—
難病	7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	—	1 14.3	—
無回答	6 100.0	1 16.7	4 66.7	—	—	—	1 16.7

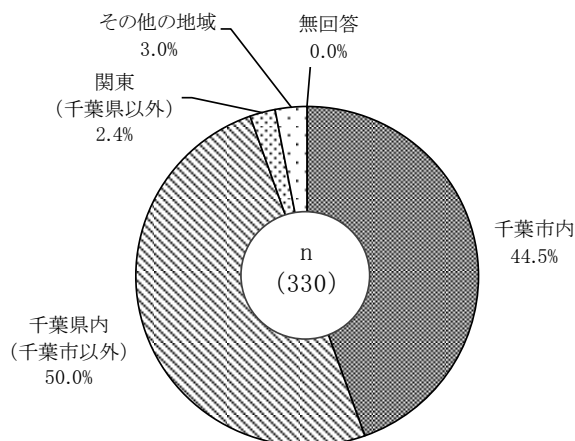
【平成 28 年度調査】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	主に身体障害 を対象とした施設	主に知的障害 を対象とした施設	主に精神障害 を対象とした施設	主に重度心身 障害者を対象と した施設	その他の施設	無回答
全 体	568 100.0	152 26.8	380 66.9	4 0.7	22 3.9	6 1.1	4 0.7
身体障害	246 100.0	143 58.1	77 31.3	2 0.8	16 6.5	5 2.0	3 1.2
知的障害	409 100.0	31 7.6	365 89.2	2 0.5	8 2.0	1 0.2	2 0.5
精神障害	34 100.0	1 2.9	31 91.2	1 2.9	—	1 2.9	—
難病	43 100.0	10 23.3	32 74.4	1 2.3	—	—	—
無回答	12 100.0	5 41.7	6 50.0	—	—	—	1 8.3

問8 あなたが入所している施設がある地域をお聞きます。(○は1つ)

「千葉県内（千葉市以外）」の割合が50.0%と最も高く、次いで「千葉市内」の割合が44.5%となっています。



【障害種別】

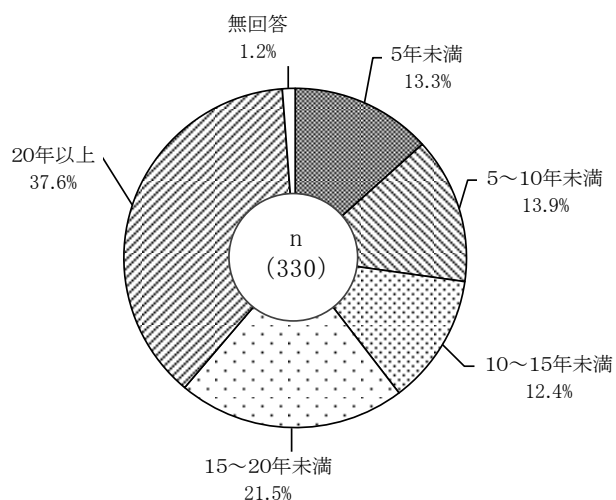
単位 上段:件、下段:%

	調査数	千葉市内	千葉県内(千葉市以外)	関東(千葉県以外)	その他の地域	無回答
全 体	330 100.0	147 44.5	165 50.0	8 2.4	10 3.0	-
身体障害	126 100.0	75 59.5	42 33.3	3 2.4	6 4.8	-
知的障害	260 100.0	97 37.3	149 57.3	7 2.7	7 2.7	-
精神障害	35 100.0	8 22.9	25 71.4	1 2.9	1 2.9	-
難病	7 100.0	5 71.4	2 28.6	-	-	-
無回答	6 100.0	1 16.7	5 83.3	-	-	-

問9 あなたが現在の施設に入所してからの期間をお聞きます。(○は1つ)

「20年以上」の割合が37.6%と最も高く、次いで「15～20年未満」の割合が21.5%、「5～10年未満」の割合が13.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「20年以上」の割合が増加しています。一方、「10～15年未満」の割合が減少しています。また、知的障害のある方では、「20年以上」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
全 体	330 100.0	44 13.3	46 13.9	41 12.4	71 21.5	124 37.6	4 1.2
身体障害	126 100.0	24 19.0	18 14.3	13 10.3	33 26.2	36 28.6	2 1.6
知的障害	260 100.0	28 10.8	35 13.5	33 12.7	55 21.2	108 41.5	1 0.4
精神障害	35 100.0	7 20.0	8 22.9	1 2.9	9 25.7	9 25.7	1 2.9
難病	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	—	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7

【平成28年度調査】

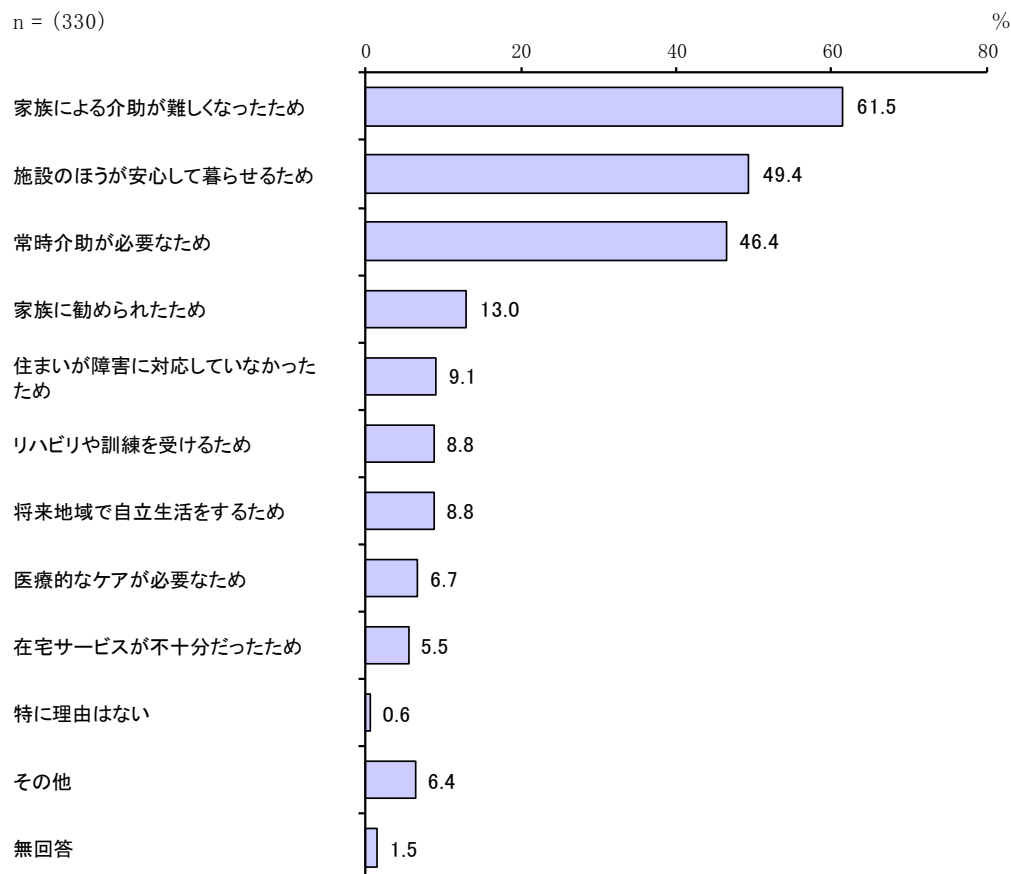
単位 上段:件、下段:%

	調査数	5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
全 体	568 100.0	71 12.5	79 13.9	109 19.2	132 23.2	158 27.8	19 3.3
身体障害	246 100.0	37 15.0	32 13.0	43 17.5	57 23.2	67 27.2	10 4.1
知的障害	409 100.0	46 11.2	59 14.4	79 19.3	90 22.0	124 30.3	11 2.7
精神障害	34 100.0	6 17.6	7 20.6	5 14.7	7 20.6	9 26.5	—
難病	43 100.0	5 11.6	4 9.3	11 25.6	9 20.9	13 30.2	1 2.3
無回答	12 100.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	3 25.0	1 8.3	4 33.3

問 10 あなたが現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「家族による介助が難しくなったため」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「施設のほうが安心して暮らせるため」の割合が 49.4%、「常時介助が必要なため」の割合が 46.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「常時介助が必要なため」、「施設のほうが安心して暮らせるため」の割合が増加しています。また、精神障害のある方では、「常時介助が必要なため」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	常時介助 が必要な ため	医療的な ケアが必要 なため	家族による 介助が難し くなったた め	在宅サー ビスが不 十分だった ため	住まいが 障害に 対応してい なかったた め	リハビリや 訓練を受 けるため	将来地域 で自立生 活をする ため	家族に勧 められた ため	施設のほ うが安心 して暮ら せるため	特に理由 はない	その他	無回答
全 体	330	153	22	203	18	30	29	29	43	163	2	21	5
	100.0	46.4	6.7	61.5	5.5	9.1	8.8	8.8	13.0	49.4	0.6	6.4	1.5
身体障害	126	69	14	87	10	19	16	9	19	55	1	7	1
	100.0	54.8	11.1	69.0	7.9	15.1	12.7	7.1	15.1	43.7	0.8	5.6	0.8
知的障害	260	118	16	157	15	20	20	25	36	135	1	17	3
	100.0	45.4	6.2	60.4	5.8	7.7	7.7	9.6	13.8	51.9	0.4	6.5	1.2
精神障害	35	22	1	20	8	2	4	1	5	18	1	4	1
	100.0	62.9	2.9	57.1	22.9	5.7	11.4	2.9	14.3	51.4	2.9	11.4	2.9
難病	7	3	-	5	-	-	1	1	1	4	-	-	-
	100.0	42.9	-	71.4	-	-	14.3	14.3	14.3	57.1	-	-	-
無回答	6	1	-	4	-	-	-	-	1	3	-	1	1
	100.0	16.7	-	66.7	-	-	-	-	16.7	50.0	-	16.7	16.7

【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

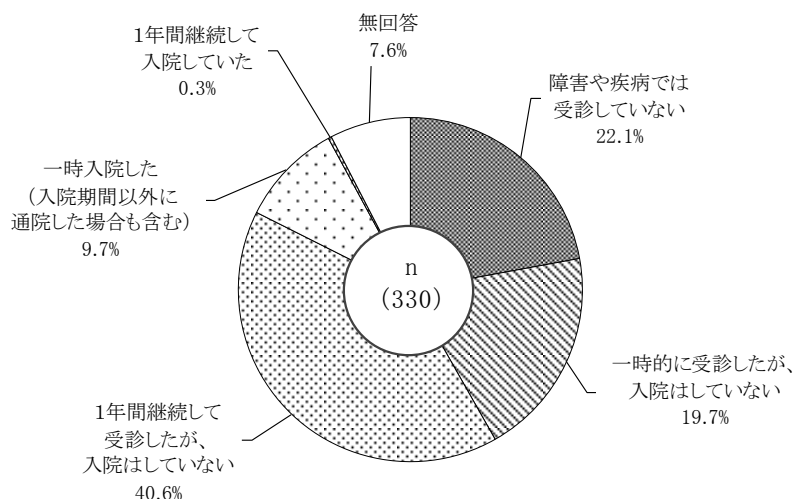
	調査数	常時介助 が必要な ため	医療的な ケアが必要 なため	家族による 介助が難し くなったた め	在宅サー ビスが不 十分だった ため	住まいが 障害に 対応してい なかったた め	リハビリや 訓練を受 けるため	将来地域 で自立生 活をする ため	家族に勧 められた ため	施設のほ うが安心 して暮ら せるため	特に理由 はない	その他	無回答
全 体	568	225	33	335	22	42	42	50	77	201	6	24	17
	100.0	39.6	5.8	59.0	3.9	7.4	7.4	8.8	13.6	35.4	1.1	4.2	3.0
身体障害	246	123	25	150	10	26	26	12	27	77	-	10	8
	100.0	50.0	10.2	61.0	4.1	10.6	10.6	4.9	11.0	31.3	-	4.1	3.3
知的障害	409	139	14	250	16	24	26	40	56	167	6	16	8
	100.0	34.0	3.4	61.1	3.9	5.9	6.4	9.8	13.7	40.8	1.5	3.9	2.0
精神障害	34	13	2	19	3	1	1	5	8	13	2	5	-
	100.0	38.2	5.9	55.9	8.8	2.9	2.9	14.7	23.5	38.2	5.9	14.7	-
難病	43	17	2	27	3	3	4	5	7	16	-	2	-
	100.0	39.5	4.7	62.8	7.0	7.0	9.3	11.6	16.3	37.2	-	4.7	-
無回答	12	4	-	4	-	-	-	1	2	2	-	-	3
	100.0	33.3	-	33.3	-	-	-	8.3	16.7	16.7	-	-	25.0

(4) 医療機関への受診状況について

問 11 あなたは最近 1 年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。
(○は 1 つ)

「1 年間継続して受診したが、入院はしていない」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「障害や疾病では受診していない」の割合が 22.1%、「一時的に受診したが、入院はしていない」の割合が 19.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、身体障害のある方では、「一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）」	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	330 100.0	73 22.1	65 19.7	134 40.6	32 9.7	1 0.3	25 7.6
身体障害	126 100.0	26 20.6	24 19.0	44 34.9	23 18.3	1 0.8	8 6.3
知的障害	260 100.0	60 23.1	47 18.1	118 45.4	15 5.8	1 0.4	19 7.3
精神障害	35 100.0	3 8.6	3 8.6	24 68.6	5 14.3	—	—
難病	7 100.0	—	1 14.3	5 71.4	1 14.3	—	—
無回答	6 100.0	1 16.7	3 50.0	—	—	—	2 33.3

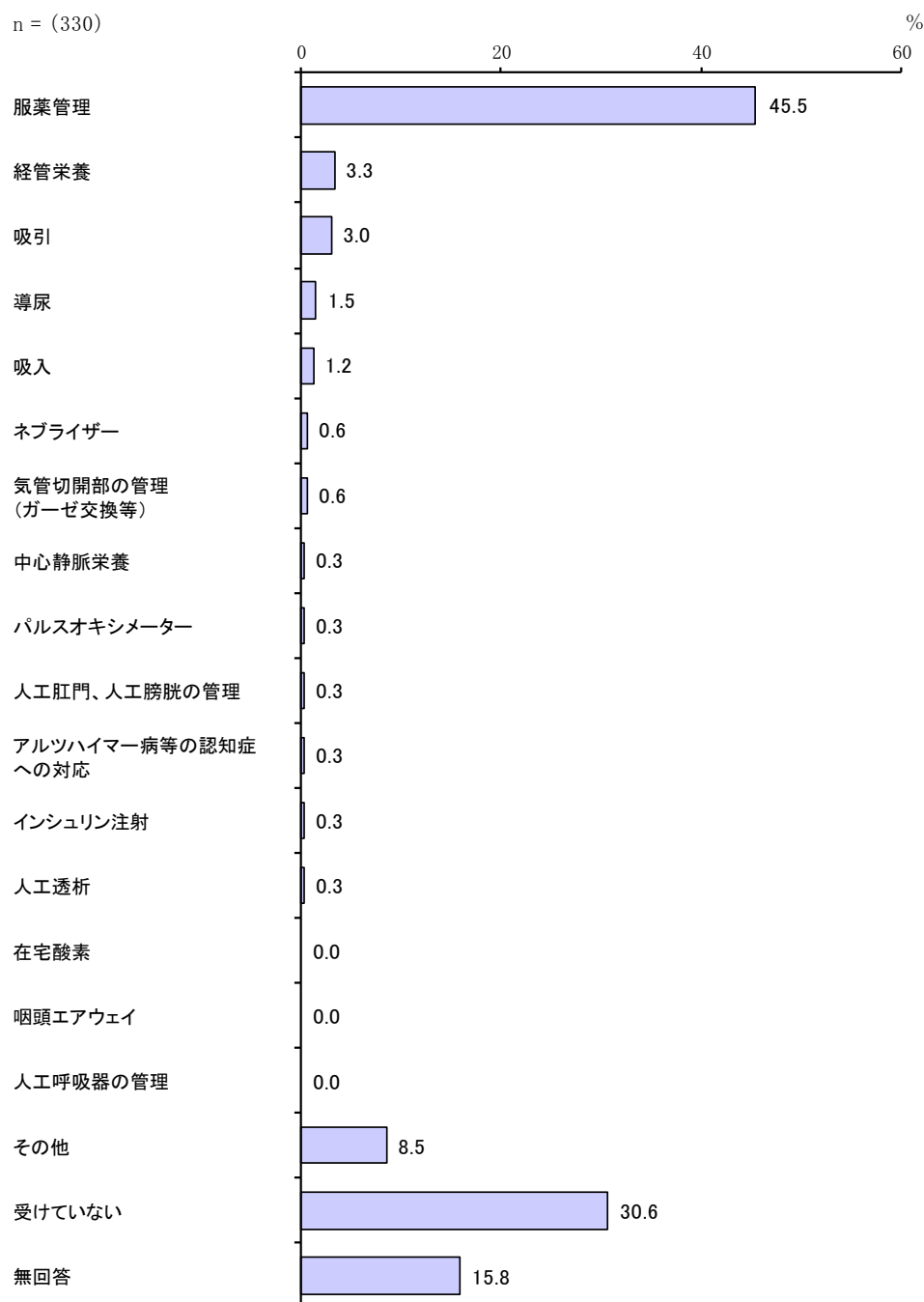
【平成 28 年度調査】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）」	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	568 100.0	133 23.4	131 23.1	223 39.3	41 7.2	—	40 7.0
身体障害	246 100.0	63 25.6	68 27.6	76 30.9	24 9.8	—	15 6.1
知的障害	409 100.0	89 21.8	84 20.5	181 44.3	24 5.9	—	31 7.6
精神障害	34 100.0	7 20.6	2 5.9	21 61.8	3 8.8	—	1 2.9
難病	43 100.0	8 18.6	11 25.6	20 46.5	2 4.7	—	2 4.7
無回答	12 100.0	6 50.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	—	1 8.3

問 12 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。
(○はいくつでも)

「服薬管理」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「受けていない」の割合が 30.6%となっています。
平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「服薬管理」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「服薬管理」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアウェイ	パルスオキシメーター
全 体	330 100.0	10 3.0	4 1.2	11 3.3	1 0.3	5 1.5	— —	2 0.6	— —	1 0.3
身体障害	126 100.0	10 7.9	4 3.2	11 8.7	1 0.8	4 3.2	— —	2 1.6	— —	1 0.8
知的障害	260 100.0	2 0.8	1 0.4	5 1.9	1 0.4	2 0.8	— —	— —	— —	— —
精神障害	35 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
難病	7 100.0	— —	— —	1 14.3	— —	— —	— —	— —	— —	— —
無回答	6 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

	気管切開部の管理 (ガーゼ交換等)	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全 体	2 0.6	— —	1 0.3	1 0.3	1 0.3	1 0.3	150 45.5	28 8.5	101 30.6	52 15.8
身体障害	2 1.6	— —	1 0.8	— —	— —	1 0.8	65 51.6	13 10.3	34 27.0	13 10.3
知的障害	— —	— —	— —	1 0.4	1 0.4	1 0.4	121 46.5	21 8.1	77 29.6	44 16.9
精神障害	— —	— —	1 2.9	— —	— —	— —	18 51.4	5 14.3	6 17.1	10 28.6
難病	— —	— —	— —	— —	— —	— —	6 85.7	1 14.3	1 14.3	— —
無回答	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 16.7	— —	2 33.3	3 50.0

【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

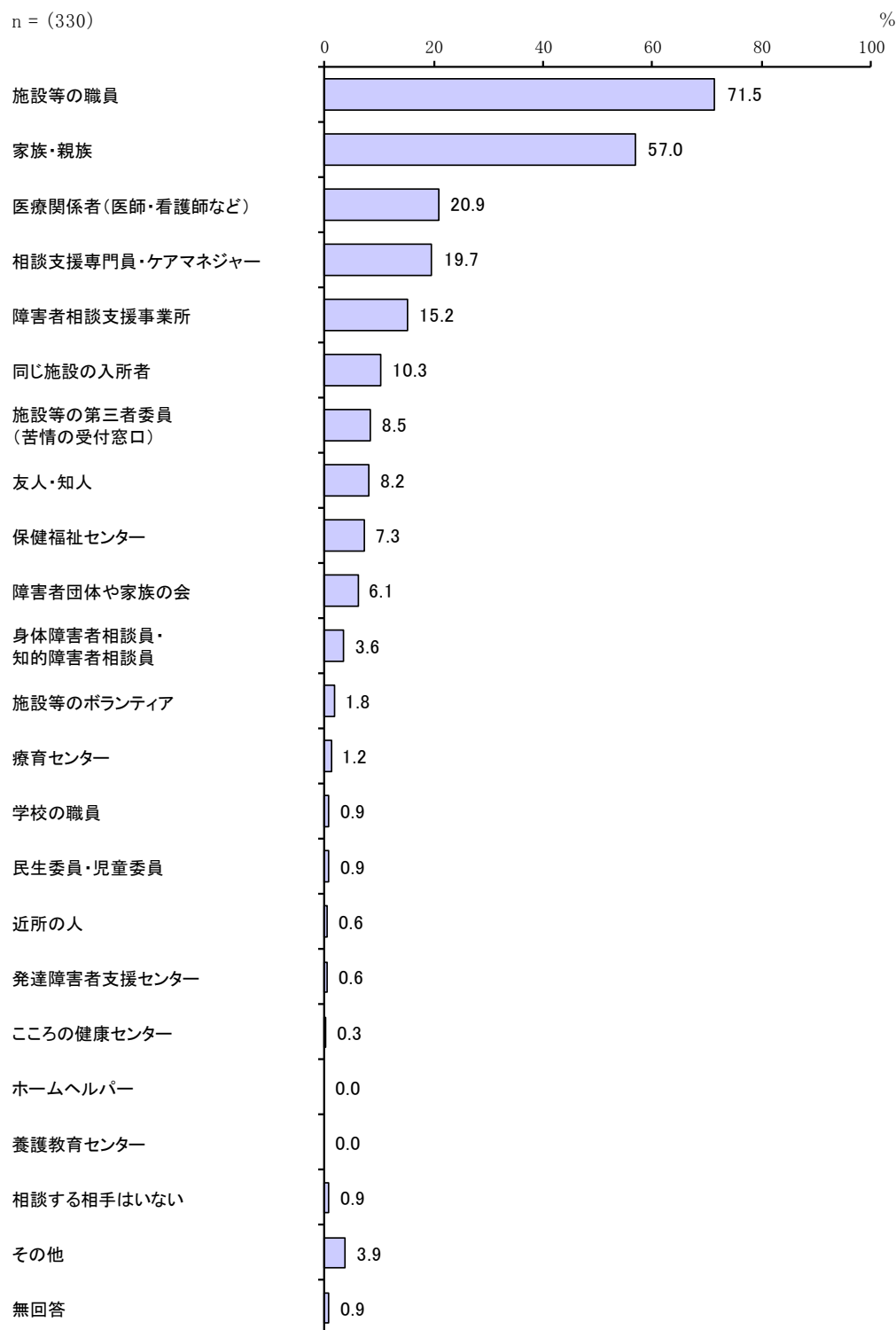
	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアウェイ	パルスオキシメーター
全 体	568 100.0	13 2.3	2 0.4	17 3.0	— —	6 1.1	3 0.5	5 0.9	— —	5 0.9
身体障害	246 100.0	13 5.3	2 0.8	17 6.9	— —	6 2.4	2 0.8	3 1.2	— —	5 2.0
知的障害	409 100.0	3 0.7	1 0.2	6 1.5	— —	1 0.2	1 0.2	1 0.2	— —	2 0.5
精神障害	34 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 2.9
難病	43 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
無回答	12 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 8.3	— —	— —

	気管切開部の管理 (ガーゼ交換等)	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全 体	4 0.7	— —	3 0.5	1 0.2	2 0.4	— —	289 50.9	22 3.9	152 26.8	104 18.3
身体障害	4 1.6	— —	3 1.2	1 0.4	1 0.4	— —	142 57.7	11 4.5	59 24.0	34 13.8
知的障害	— —	— —	1 0.2	1 0.2	1 0.2	— —	191 46.7	18 4.4	117 28.6	83 20.3
精神障害	— —	— —	— —	— —	— —	— —	13 38.2	3 8.8	11 32.4	9 26.5
難病	— —	— —	— —	— —	— —	— —	28 65.1	3 7.0	6 14.0	6 14.0
無回答	— —	— —	— —	— —	— —	— —	5 41.7	— —	5 41.7	1 8.3

（５）相談や情報入手について

問 13 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。
（〇はいくつでも）

「施設等の職員」の割合が 71.5%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が 57.0%、「医療関係者（医師・看護師など）」の割合が 20.9%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

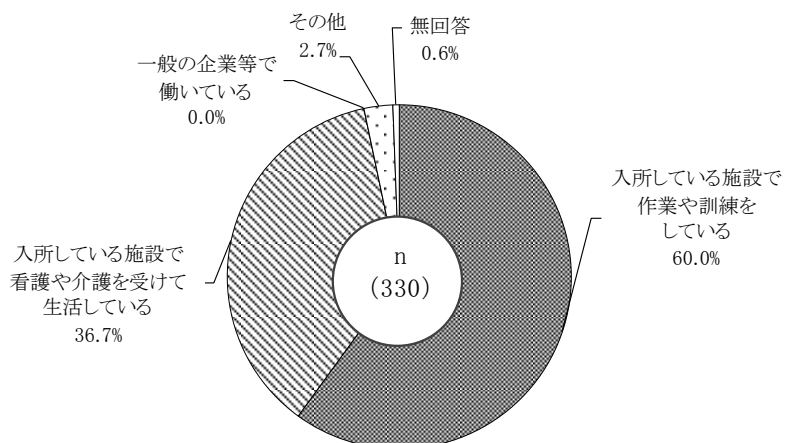
	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	同じ施設の入所者	相談支援専門員・ケアマネジャー	障害者相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	施設等のボランティア	施設等の第三者委員(苦情の受付窓口)	医療関係者(医師・看護師など)
全 体	330 100.0	188 57.0	27 8.2	2 0.6	34 10.3	65 19.7	50 15.2	— —	236 71.5	6 1.8	28 8.5	69 20.9
身体障害	126 100.0	84 66.7	12 9.5	1 0.8	13 10.3	34 27.0	22 17.5	— —	89 70.6	3 2.4	8 6.3	28 22.2
知的障害	260 100.0	142 54.6	21 8.1	1 0.4	30 11.5	46 17.7	36 13.8	— —	193 74.2	6 2.3	28 10.8	54 20.8
精神障害	35 100.0	22 62.9	2 5.7	— —	5 14.3	8 22.9	8 22.9	— —	27 77.1	— —	3 8.6	11 31.4
難病	7 100.0	6 85.7	1 14.3	— —	— —	1 14.3	2 28.6	— —	5 71.4	— —	— —	3 42.9
無回答	6 100.0	2 33.3	— —	— —	— —	— —	— —	— —	4 66.7	— —	— —	— —

	障害者団体や家族の会	学校の職員	養護教育センター	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
全 体	20 6.1	3 0.9	— —	3 0.9	12 3.6	24 7.3	4 1.2	2 0.6	1 0.3	3 0.9	13 3.9	3 0.9
身体障害	5 4.0	— —	— —	1 0.8	5 4.0	10 7.9	3 2.4	— —	1 0.8	— —	5 4.0	3 2.4
知的障害	18 6.9	3 1.2	— —	2 0.8	7 2.7	21 8.1	2 0.8	2 0.8	1 0.4	3 1.2	9 3.5	2 0.8
精神障害	2 5.7	— —	— —	— —	2 5.7	5 14.3	— —	— —	— —	— —	2 5.7	— —
難病	2 28.6	— —	— —	— —	1 14.3	1 14.3	1 14.3	— —	1 14.3	— —	1 14.3	— —
無回答	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 16.7	— —

(6) 日常生活（施設での生活）について

問 14 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。
(最もあてはまる番号 1 つに○)

「入所している施設で作業や訓練をしている」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「入所している施設で看護や介護を受けて生活している」の割合が 36.7%となっています。



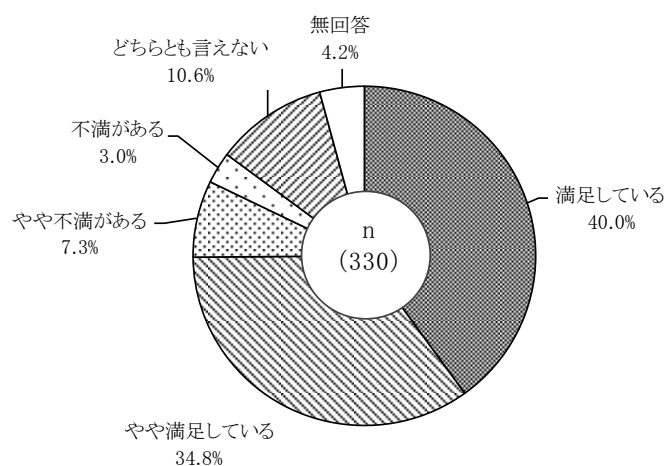
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	入所している施設で看護や介護を受けて生活している	入所している施設で作業や訓練をしている	一般の企業等で働いている	その他	無回答
全 体	330 100.0	121 36.7	198 60.0	—	9 2.7	2 0.6
身体障害	126 100.0	73 57.9	46 36.5	—	5 4.0	2 1.6
知的障害	260 100.0	72 27.7	179 68.8	—	8 3.1	1 0.4
精神障害	35 100.0	12 34.3	23 65.7	—	—	—
難病	7 100.0	6 85.7	1 14.3	—	—	—
無回答	6 100.0	2 33.3	4 66.7	—	—	—

問 15 あなたは、現在入所している施設での生活に満足していますか。(○は1つ)

「満足している」と「やや満足している」をあわせた“満足している”の割合が 74.8%、「やや不満がある」と「不満がある」をあわせた“不満がある”の割合が 10.3%、「どちらとも言えない」の割合が 10.6%となっています。



【障害種別】

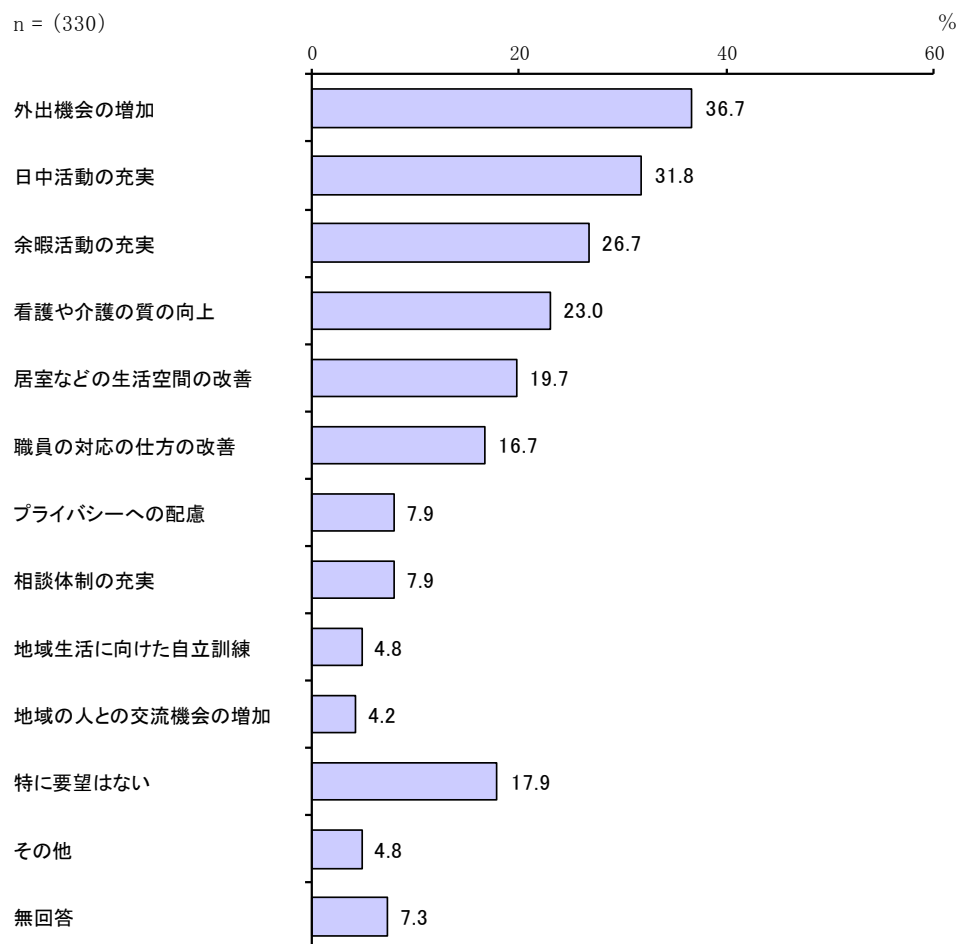
単位 上段:件、下段:%

	調査数	満足している	やや満足している	やや不満がある	不満がある	どちらとも言えない	無回答
全 体	330 100.0	132 40.0	115 34.8	24 7.3	10 3.0	35 10.6	14 4.2
身体障害	126 100.0	45 35.7	40 31.7	13 10.3	6 4.8	18 14.3	4 3.2
知的障害	260 100.0	106 40.8	91 35.0	17 6.5	6 2.3	28 10.8	12 4.6
精神障害	35 100.0	10 28.6	11 31.4	5 14.3	1 2.9	3 8.6	5 14.3
難病	7 100.0	3 42.9	—	1 14.3	—	3 42.9	—
無回答	6 100.0	2 33.3	2 33.3	—	1 16.7	—	1 16.7

問 16 あなたは、入所している施設に対してどのような要望がありますか。
(○はいくつでも)

「外出機会の増加」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「日中活動の充実」の割合が 31.8%、「余暇活動の充実」の割合が 26.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「看護や介護の質の向上」、「日中活動の充実」、「外出機会の増加」の割合が増加しています。一方、「特に要望はない」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「職員の対応の仕方の改善」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：％

	調査数	看護や介護の 質の向上	職員の対応の 仕方の改善	居室などの生 活空間の改善	プライバシーへ の配慮	日中活動の充 実	余暇活動の充 実
全 体	330 100.0	76 23.0	55 16.7	65 19.7	26 7.9	105 31.8	88 26.7
身体障害	126 100.0	44 34.9	26 20.6	21 16.7	10 7.9	46 36.5	31 24.6
知的障害	260 100.0	49 18.8	43 16.5	54 20.8	19 7.3	81 31.2	77 29.6
精神障害	35 100.0	11 31.4	10 28.6	10 28.6	6 17.1	12 34.3	14 40.0
難病	7 100.0	4 57.1	2 28.6	－	1 14.3	2 28.6	1 14.3
無回答	6 100.0	－	－	－	－	－	2 33.3

	外出機会の増 加	地域の人との 交流機会の増 加	相談体制の充 実	地域生活に向 けた自立訓練	特に要望はな い	その他	無回答
全 体	121 36.7	14 4.2	26 7.9	16 4.8	59 17.9	16 4.8	24 7.3
身体障害	52 41.3	8 6.3	16 12.7	5 4.0	23 18.3	6 4.8	9 7.1
知的障害	88 33.8	11 4.2	15 5.8	13 5.0	47 18.1	12 4.6	19 7.3
精神障害	16 45.7	2 5.7	4 11.4	3 8.6	2 5.7	1 2.9	2 5.7
難病	2 28.6	1 14.3	1 14.3	－	1 14.3	1 14.3	2 28.6
無回答	2 33.3	－	1 16.7	－	1 16.7	1 16.7	1 16.7

【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：％

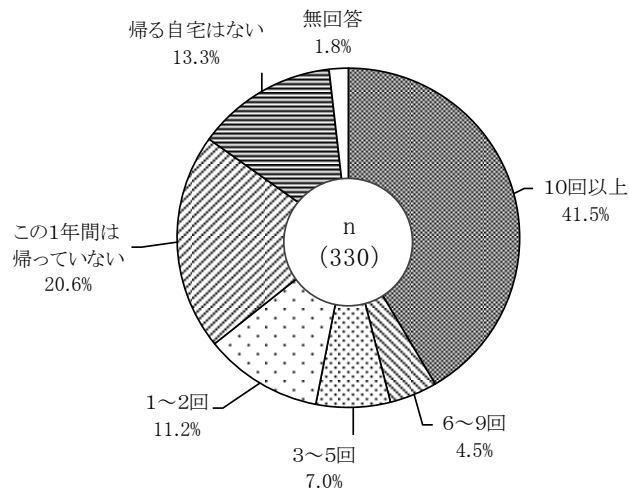
	調査数	看護や介護の 質の向上	職員の対応の 仕方の改善	居室などの生 活空間の改善	プライバシーへ の配慮	日中活動の充 実	余暇活動の充 実
全 体	568 100.0	96 16.9	83 14.6	94 16.5	42 7.4	140 24.6	154 27.1
身体障害	246 100.0	56 22.8	37 15.0	33 13.4	21 8.5	64 26.0	60 24.4
知的障害	409 100.0	63 15.4	62 15.2	81 19.8	31 7.6	97 23.7	119 29.1
精神障害	34 100.0	6 17.6	3 8.8	8 23.5	－	8 23.5	13 38.2
難病	43 100.0	9 20.9	11 25.6	11 25.6	6 14.0	8 18.6	12 27.9
無回答	12 100.0	－	－	－	1 8.3	－	4 33.3

	外出機会の増 加	地域の人との 交流機会の増 加	相談体制の充 実	地域生活に向 けた自立訓練	特に要望はな い	その他	無回答
全 体	178 31.3	27 4.8	22 3.9	16 2.8	141 24.8	25 4.4	24 4.2
身体障害	85 34.6	20 8.1	12 4.9	6 2.4	54 22.0	14 5.7	10 4.1
知的障害	121 29.6	12 2.9	15 3.7	11 2.7	108 26.4	18 4.4	17 4.2
精神障害	10 29.4	3 8.8	－	－	10 29.4	－	2 5.9
難病	10 23.3	3 7.0	3 7.0	4 9.3	6 14.0	5 11.6	1 2.3
無回答	4 33.3	1 8.3	－	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3

問 17 あなたは、最近 1 年間、どの位の頻度でご自宅に帰りましたか。(○は 1 つ)

「10 回以上」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「この 1 年間は帰っていない」の割合が 20.6%、「帰る自宅はない」の割合が 13.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、大きな変化はみられません。また、精神障害のある方では、「10 回以上」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	10回以上	6～9回	3～5回	1～2回	この1年間は 帰っていない	帰る自宅はな い	無回答
全 体	330 100.0	137 41.5	15 4.5	23 7.0	37 11.2	68 20.6	44 13.3	6 1.8
身体障害	126 100.0	44 34.9	6 4.8	6 4.8	14 11.1	36 28.6	16 12.7	4 3.2
知的障害	260 100.0	115 44.2	12 4.6	19 7.3	33 12.7	45 17.3	33 12.7	3 1.2
精神障害	35 100.0	12 34.3	1 2.9	4 11.4	7 20.0	7 20.0	3 8.6	1 2.9
難病	7 100.0	2 28.6	—	—	—	4 57.1	—	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	—	—	—	4 66.7	1 16.7	—

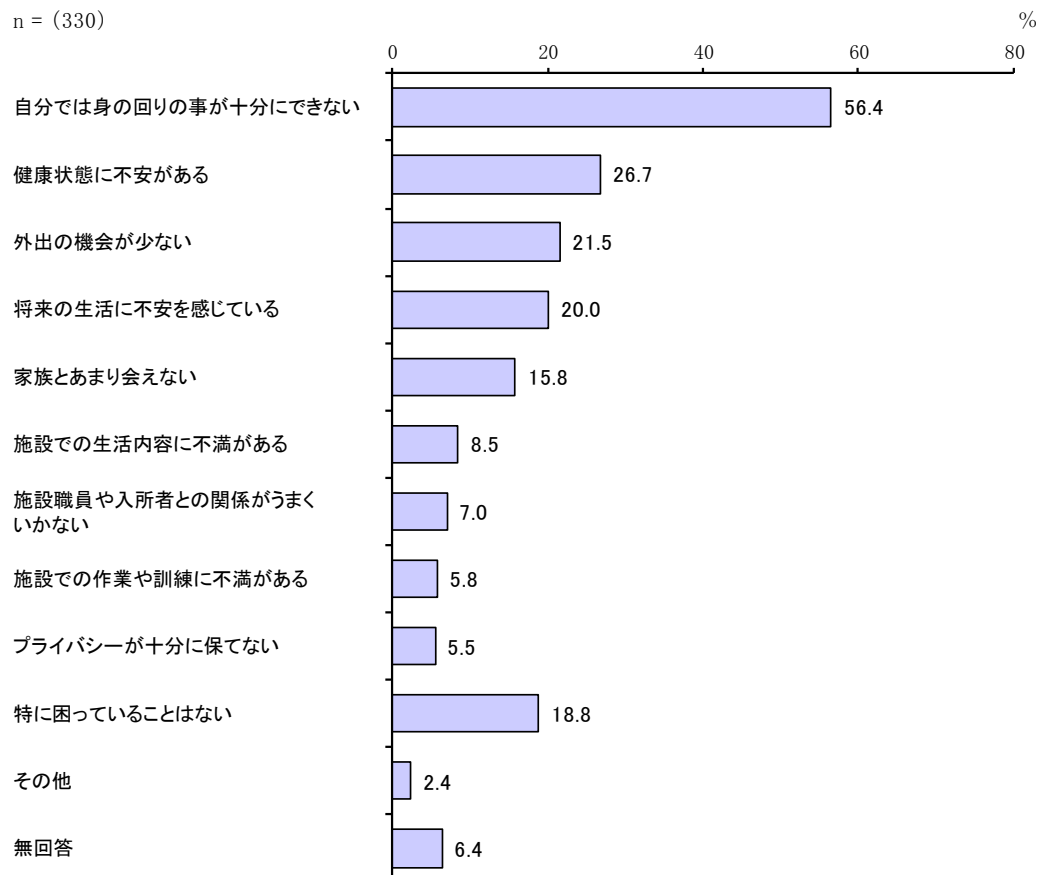
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	10回以上	6～9回	3～5回	1～2回	この1年間は 帰っていない	帰る自宅はな い	無回答
全 体	568 100.0	214 37.7	30 5.3	60 10.6	64 11.3	137 24.1	58 10.2	5 0.9
身体障害	246 100.0	78 31.7	12 4.9	18 7.3	32 13.0	77 31.3	25 10.2	4 1.6
知的障害	409 100.0	160 39.1	27 6.6	52 12.7	47 11.5	83 20.3	38 9.3	2 0.5
精神障害	34 100.0	7 20.6	4 11.8	4 11.8	5 14.7	7 20.6	7 20.6	—
難病	43 100.0	22 51.2	2 4.7	6 14.0	4 9.3	8 18.6	1 2.3	—
無回答	12 100.0	1 8.3	—	1 8.3	1 8.3	7 58.3	1 8.3	1 8.3

問 18 あなたは、日常生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「自分では身の回りの事が十分にできない」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「健康状態に不安がある」の割合が 26.7%、「外出の機会が少ない」の割合が 21.5%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	健康状態に不安がある	施設での生活内容に不満がある	施設での作業や訓練に不満がある	プライバシーが十分に保てない	外出の機会が少ない
全 体	330 100.0	186 56.4	88 26.7	28 8.5	19 5.8	18 5.5	71 21.5
身体障害	126 100.0	73 57.9	47 37.3	17 13.5	6 4.8	9 7.1	38 30.2
知的障害	260 100.0	148 56.9	65 25.0	22 8.5	15 5.8	14 5.4	47 18.1
精神障害	35 100.0	20 57.1	12 34.3	5 14.3	4 11.4	4 11.4	6 17.1
難病	7 100.0	5 71.4	3 42.9	2 28.6	1 14.3	-	2 28.6
無回答	6 100.0	3 50.0	-	-	1 16.7	-	2 33.3

	施設職員や入所者との関係がうまくいかない	家族とあまり会えない	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	23 7.0	52 15.8	66 20.0	62 18.8	8 2.4	21 6.4
身体障害	10 7.9	19 15.1	24 19.0	22 17.5	3 2.4	9 7.1
知的障害	14 5.4	39 15.0	55 21.2	51 19.6	5 1.9	16 6.2
精神障害	5 14.3	5 14.3	6 17.1	7 20.0	2 5.7	3 8.6
難病	2 28.6	-	1 14.3	-	1 14.3	2 28.6
無回答	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-

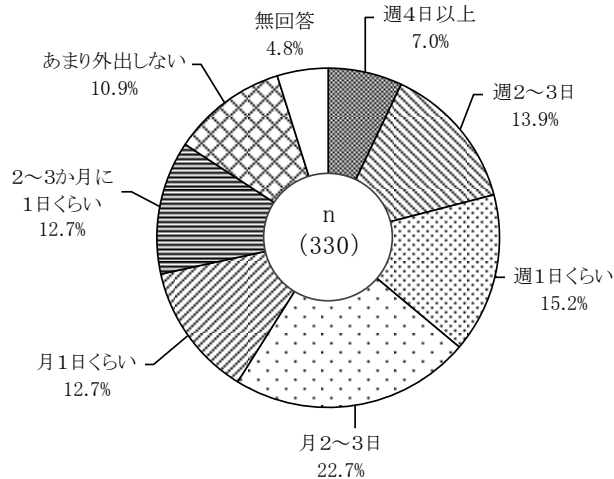
(7) 暮らしについて

問 19 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

「月2～3日」の割合が22.7%と最も高く、次いで「週1日くらい」の割合が15.2%、「週2～3日」の割合が13.9%となっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「週1日くらい」の割合が高くなっています。また、他に比べ、60～69歳で「月2～3日」の割合が高く、約3割となっています。

平成28年度調査については、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。



※令和元年度調査の「週4日以上」、「週2～3日」は新たに追加された選択肢です。

平成28年度調査の「週2日以上」は令和元年度調査にはありません。

【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	330 100.0	23 7.0	46 13.9	50 15.2	75 22.7	42 12.7	42 12.7	36 10.9	16 4.8
身体障害	126 100.0	6 4.8	9 7.1	16 12.7	27 21.4	15 11.9	27 21.4	24 19.0	2 1.6
知的障害	260 100.0	19 7.3	42 16.2	41 15.8	65 25.0	33 12.7	28 10.8	21 8.1	11 4.2
精神障害	35 100.0	— —	6 17.1	5 14.3	5 14.3	11 31.4	6 17.1	1 2.9	1 2.9
難病	7 100.0	— —	— —	2 28.6	1 14.3	— —	1 14.3	2 28.6	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	— —	— —	— —	1 16.7	— —	1 16.7	3 50.0

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	330 100.0	23 7.0	46 13.9	50 15.2	75 22.7	42 12.7	42 12.7	36 10.9	16 4.8
20歳未満	1 100.0	—	—	1 100.0	—	—	—	—	—
20歳～29歳	29 100.0	2 6.9	5 17.2	5 17.2	5 17.2	4 13.8	4 13.8	2 6.9	2 6.9
30歳～39歳	63 100.0	5 7.9	15 23.8	11 17.5	13 20.6	6 9.5	5 7.9	7 11.1	1 1.6
40歳～49歳	116 100.0	7 6.0	22 19.0	19 16.4	29 25.0	13 11.2	11 9.5	9 7.8	6 5.2
50歳～59歳	75 100.0	5 6.7	2 2.7	11 14.7	18 24.0	11 14.7	12 16.0	11 14.7	5 6.7
60歳～69歳	32 100.0	2 6.3	1 3.1	2 6.3	9 28.1	5 15.6	7 21.9	5 15.6	1 3.1
70歳～79歳	9 100.0	1 11.1	—	1 11.1	1 11.1	1 11.1	3 33.3	2 22.2	—
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	—	—	2 40.0	—	—	1 20.0

【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

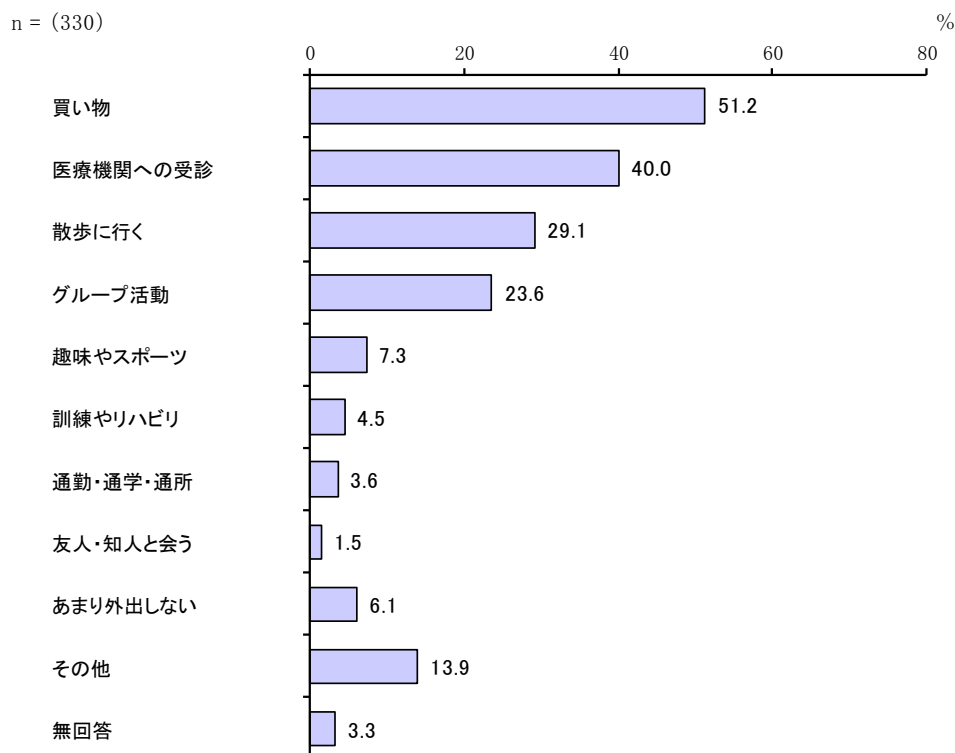
	調査数	週2日以上	週1日くらい	月2～3日くらい	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	568 100.0	80 14.1	73 12.9	113 19.9	92 16.2	106 18.7	91 16.0	13 2.3
身体障害	246 100.0	25 10.2	31 12.6	44 17.9	39 15.9	47 19.1	55 22.4	5 2.0
知的障害	409 100.0	70 17.1	54 13.2	80 19.6	66 16.1	81 19.8	48 11.7	10 2.4
精神障害	34 100.0	2 5.9	5 14.7	9 26.5	7 20.6	6 17.6	3 8.8	2 5.9
難病	43 100.0	8 18.6	7 16.3	7 16.3	10 23.3	5 11.6	4 9.3	2 4.7
無回答	12 100.0	—	1 8.3	2 16.7	1 8.3	2 16.7	6 50.0	—

問 20 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

「買い物」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「医療機関への受診」の割合が 40.0%、「散歩に行く」の割合が 29.1%となっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「買い物」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、40～49 歳で「グループ活動」、「散歩に行く」の割合が高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「買い物」、「散歩に行く」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「医療機関への受診」の割合が減少しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	330 100.0	12 3.6	15 4.5	132 40.0	169 51.2	5 1.5	24 7.3	78 23.6	96 29.1	20 6.1	46 13.9	11 3.3
身体障害	126 100.0	4 3.2	9 7.1	61 48.4	56 44.4	3 2.4	8 6.3	18 14.3	29 23.0	9 7.1	16 12.7	3 2.4
知的障害	260 100.0	8 3.1	9 3.5	102 39.2	146 56.2	2 0.8	19 7.3	71 27.3	86 33.1	15 5.8	38 14.6	6 2.3
精神障害	35 100.0	1 2.9	—	12 34.3	20 57.1	1 2.9	4 11.4	6 17.1	6 17.1	2 5.7	1 2.9	2 5.7
難病	7 100.0	—	—	4 57.1	2 28.6	—	2 28.6	—	—	1 14.3	—	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	—	1 16.7	1 16.7	—	—	2 33.3	1 16.7	—	—	2 33.3

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	330 100.0	12 3.6	15 4.5	132 40.0	169 51.2	5 1.5	24 7.3	78 23.6	96 29.1	20 6.1	46 13.9	11 3.3
20歳未満	1 100.0	—	—	—	1 100.0	—	—	—	—	—	—	—
20歳～29歳	29 100.0	—	2 6.9	14 48.3	16 55.2	—	3 10.3	5 17.2	9 31.0	1 3.4	5 17.2	—
30歳～39歳	63 100.0	4 6.3	3 4.8	25 39.7	35 55.6	1 1.6	7 11.1	15 23.8	20 31.7	3 4.8	10 15.9	—
40歳～49歳	116 100.0	4 3.4	7 6.0	50 43.1	58 50.0	—	8 6.9	33 28.4	41 35.3	6 5.2	14 12.1	3 2.6
50歳～59歳	75 100.0	1 1.3	—	25 33.3	40 53.3	3 4.0	5 6.7	16 21.3	19 25.3	5 6.7	11 14.7	7 9.3
60歳～69歳	32 100.0	1 3.1	1 3.1	12 37.5	13 40.6	1 3.1	1 3.1	6 18.8	6 18.8	4 12.5	5 15.6	1 3.1
70歳～79歳	9 100.0	—	1 11.1	6 66.7	4 44.4	—	—	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	—
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	—	2 40.0	—	—	2 40.0	—	—	—	—

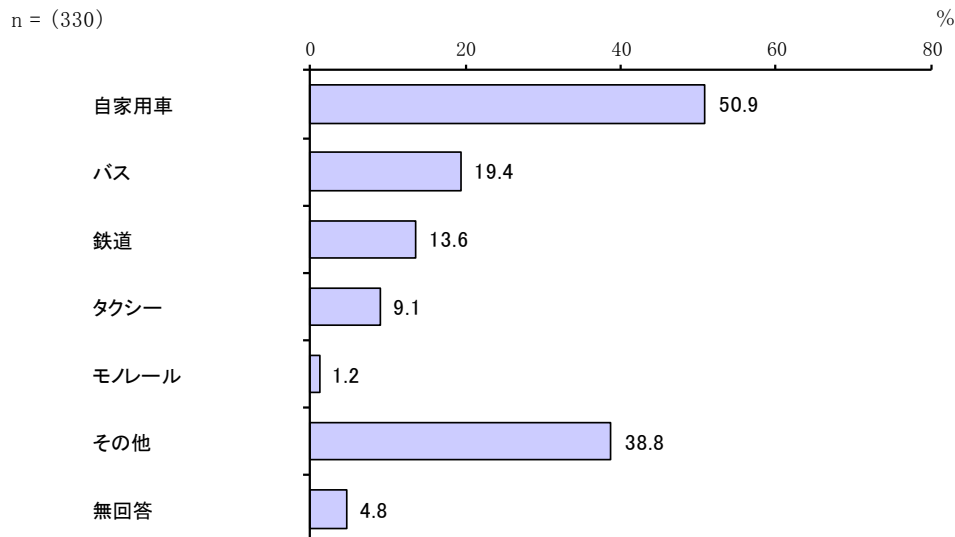
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	568 100.0	9 1.6	44 7.7	231 40.7	322 56.7	13 2.3	49 8.6	132 23.2	245 43.1	22 3.9	44 7.7	4 0.7
身体障害	246 100.0	2 0.8	23 9.3	109 44.3	125 50.8	7 2.8	19 7.7	65 26.4	85 34.6	12 4.9	14 5.7	3 1.2
知的障害	409 100.0	9 2.2	28 6.8	170 41.6	240 58.7	5 1.2	39 9.5	93 22.7	200 48.9	16 3.9	35 8.6	1 0.2
精神障害	34 100.0	—	1 2.9	20 58.8	25 73.5	2 5.9	4 11.8	5 14.7	11 32.4	2 5.9	2 5.9	—
難病	43 100.0	—	6 14.0	21 48.8	23 53.5	3 7.0	4 9.3	11 25.6	19 44.2	—	1 2.3	—
無回答	12 100.0	—	—	2 16.7	9 75.0	1 8.3	—	1 8.3	4 33.3	—	2 16.7	1 8.3

問 21 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。
(○はいくつでも)

「自家用車」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「バス」の割合が 19.4%、「鉄道」の割合が 13.6%となっています。



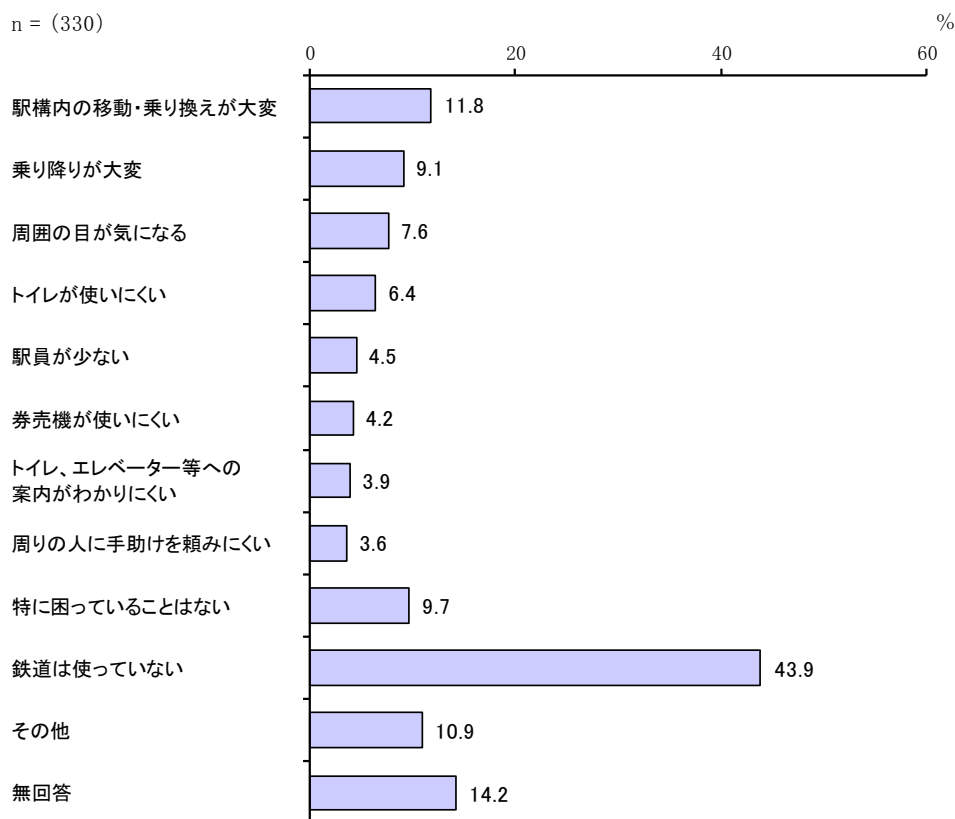
【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	330 100.0	45 13.6	64 19.4	4 1.2	30 9.1	168 50.9	128 38.8	16 4.8
身体障害	126 100.0	15 11.9	21 16.7	1 0.8	20 15.9	57 45.2	48 38.1	7 5.6
知的障害	260 100.0	35 13.5	52 20.0	3 1.2	15 5.8	144 55.4	102 39.2	9 3.5
精神障害	35 100.0	-	2 5.7	-	2 5.7	18 51.4	18 51.4	1 2.9
難病	7 100.0	-	2 28.6	-	2 28.6	2 28.6	3 42.9	1 14.3
無回答	6 100.0	-	-	-	-	1 16.7	3 50.0	2 33.3

問 22 あなたは、鉄道を利用する際に困っていることはありますか。
(○はいくつでも)

「鉄道は使っていない」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「駅構内の移動・乗り換えが大変」の割合が 11.8%となっています。



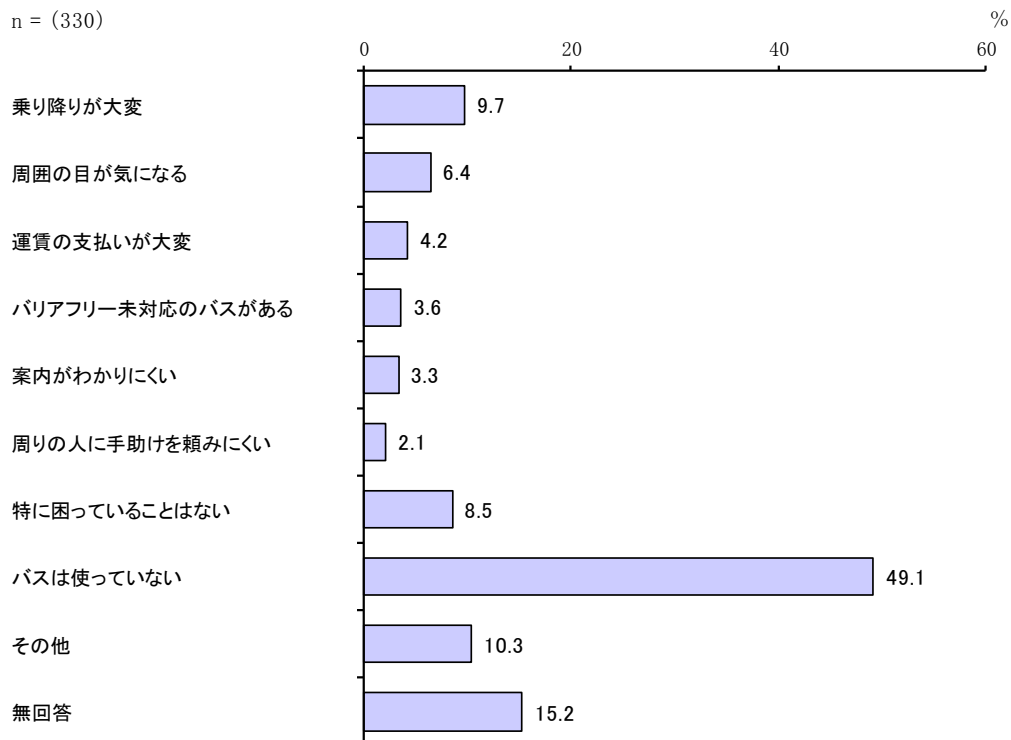
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降り が大変	駅構内の 移動・乗 り換えが 大変	トイレが 使いにく い	券売機が 使いにく い	トイレ、エ レベーター等へ の案内が わかりにく い	駅員が少 ない	周りの人 に手助け を頼みに くい	周囲の目 が気にな る	特に困っ ているこ とはない	鉄道は 使ってい ない	その他	無回答
全 体	330 100.0	30 9.1	39 11.8	21 6.4	14 4.2	13 3.9	15 4.5	12 3.6	25 7.6	32 9.7	145 43.9	36 10.9	47 14.2
身体障害	126 100.0	18 14.3	20 15.9	9 7.1	6 4.8	8 6.3	12 9.5	7 5.6	4 3.2	6 4.8	62 49.2	9 7.1	19 15.1
知的障害	260 100.0	22 8.5	30 11.5	16 6.2	9 3.5	10 3.8	8 3.1	9 3.5	24 9.2	27 10.4	112 43.1	34 13.1	33 12.7
精神障害	35 100.0	2 5.7	3 8.6	4 11.4	2 5.7	4 11.4	2 5.7	2 5.7	3 8.6	1 2.9	21 60.0	4 11.4	3 8.6
難病	7 100.0	1 14.3	1 14.3	—	—	1 14.3	—	1 14.3	—	—	4 57.1	—	2 28.6
無回答	6 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 50.0	—	3 50.0

問 23 あなたは、バスを利用する際に困っていることはありますか。
(〇はいくつでも)

「バスは使っていない」の割合が 49.1%と最も高くなっています。



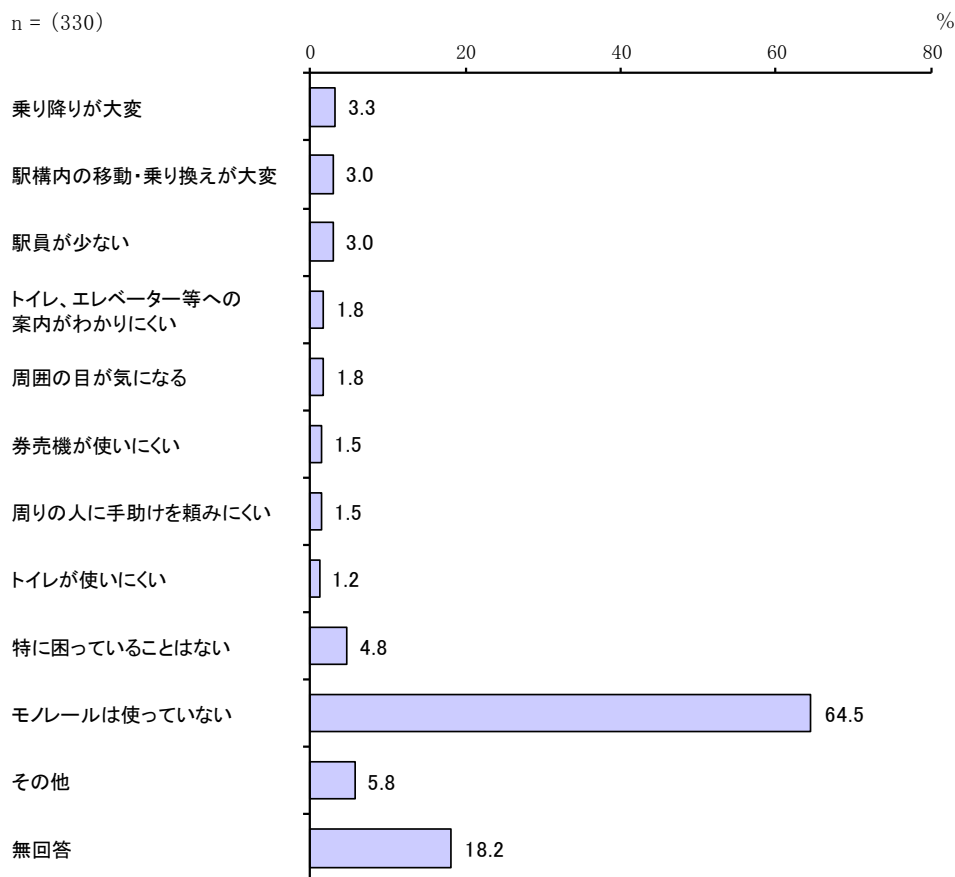
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降りが大変	バリアフリー未対応のバスがある	案内がわかりにくい	運賃の支払いが大変	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	バスは使っていない	その他	無回答
全 体	330 100.0	32 9.7	12 3.6	11 3.3	14 4.2	7 2.1	21 6.4	28 8.5	162 49.1	34 10.3	50 15.2
身体障害	126 100.0	19 15.1	11 8.7	5 4.0	2 1.6	2 1.6	3 2.4	7 5.6	71 56.3	9 7.1	18 14.3
知的障害	260 100.0	26 10.0	8 3.1	9 3.5	12 4.6	6 2.3	20 7.7	24 9.2	121 46.5	31 11.9	35 13.5
精神障害	35 100.0	2 5.7	—	4 11.4	3 8.6	1 2.9	2 5.7	—	21 60.0	4 11.4	4 11.4
難病	7 100.0	1 14.3	—	—	—	1 14.3	—	1 14.3	3 42.9	—	2 28.6
無回答	6 100.0	—	—	—	—	—	—	—	3 50.0	—	3 50.0

問 24 あなたは、モノレールを利用する際に困っていることはありますか。
(○はいくつでも)

「モノレールは使っていない」の割合が64.5%と最も高くなっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	乗り降りが大変	駅構内の移動・乗り換えが大変	トイレが使いにくい	券売機が使いにくい	トイレ、エレベーター等への案内がわかりにくい	駅員が少ない
全 体	330	11	10	4	5	6	10
	100.0	3.3	3.0	1.2	1.5	1.8	3.0
身体障害	126	7	5	2	2	4	5
	100.0	5.6	4.0	1.6	1.6	3.2	4.0
知的障害	260	9	8	3	3	4	9
	100.0	3.5	3.1	1.2	1.2	1.5	3.5
精神障害	35	1	1	1	2	1	3
	100.0	2.9	2.9	2.9	5.7	2.9	8.6
難病	7	—	—	—	—	1	1
	100.0	—	—	—	—	14.3	14.3
無回答	6	—	—	—	—	—	—
	100.0	—	—	—	—	—	—

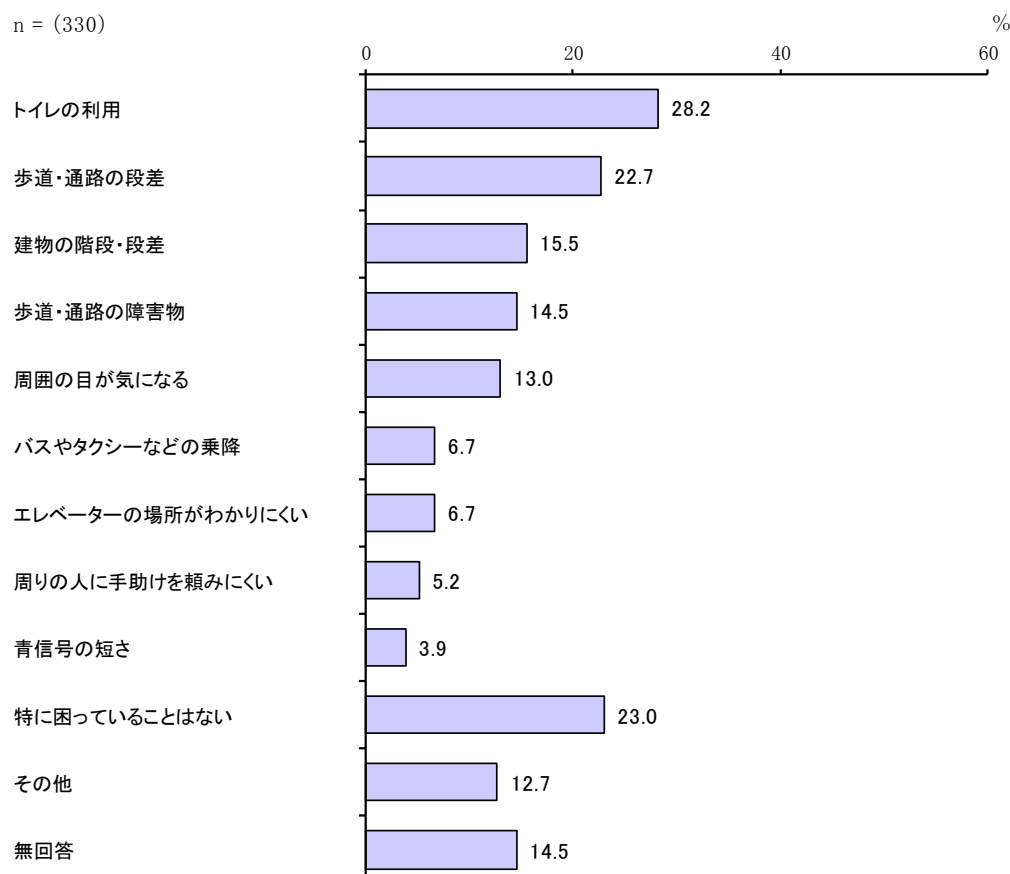
	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	モノレールは使っていない	その他	無回答
全 体	5	6	16	213	19	60
	1.5	1.8	4.8	64.5	5.8	18.2
身体障害	2	2	3	89	3	22
	1.6	1.6	2.4	70.6	2.4	17.5
知的障害	4	5	14	167	18	42
	1.5	1.9	5.4	64.2	6.9	16.2
精神障害	1	—	—	24	2	5
	2.9	—	—	68.6	5.7	14.3
難病	—	—	—	4	—	2
	—	—	—	57.1	—	28.6
無回答	—	—	—	3	—	3
	—	—	—	50.0	—	50.0

問 25 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「トイレの利用」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が 23.0%、「歩道・通路の段差」の割合が 22.7%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、身体障害で「歩道・通路の段差」、「歩道・通路の障害物」、「建物の階段・段差」の割合が高くなっています。また、精神障害で「トイレの利用」、「周囲の目が気になる」の割合が高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「歩道・通路の障害物」、「建物の階段・段差」、「特に困っていることはない」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「トイレの利用」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：％

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の長さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい
全 体	330 100.0	75 22.7	13 3.9	48 14.5	22 6.7	51 15.5	22 6.7
身体障害	126 100.0	58 46.0	8 6.3	35 27.8	14 11.1	43 34.1	14 11.1
知的障害	260 100.0	48 18.5	11 4.2	30 11.5	14 5.4	32 12.3	15 5.8
精神障害	35 100.0	9 25.7	2 5.7	6 17.1	3 8.6	9 25.7	5 14.3
難病	7 100.0	2 28.6	－	－	1 14.3	2 28.6	2 28.6
無回答	6 100.0	－	－	－	－	－	－

	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	93 28.2	17 5.2	43 13.0	76 23.0	42 12.7	48 14.5
身体障害	46 36.5	5 4.0	5 4.0	26 20.6	11 8.7	13 10.3
知的障害	70 26.9	15 5.8	41 15.8	67 25.8	34 13.1	34 13.1
精神障害	15 42.9	4 11.4	8 22.9	7 20.0	6 17.1	5 14.3
難病	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6
無回答	－	－	－	1 16.7	1 16.7	4 66.7

【平成 28 年度調査】

単位 上段：件、下段：％

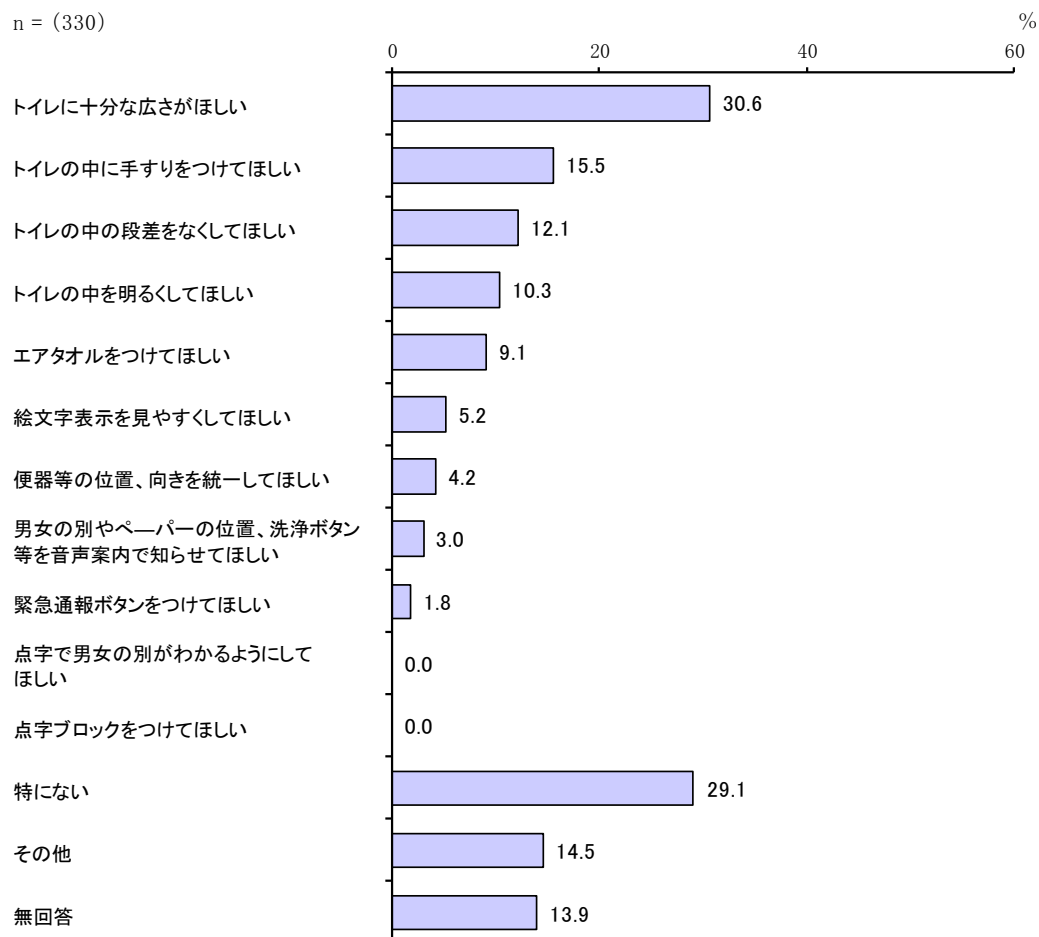
	調査数	歩道・通路の段差	青信号の長さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい
全 体	568 100.0	156 27.5	23 4.0	118 20.8	19 3.3	121 21.3	22 3.9
身体障害	246 100.0	111 45.1	19 7.7	88 35.8	12 4.9	88 35.8	13 5.3
知的障害	409 100.0	85 20.8	11 2.7	57 13.9	14 3.4	73 17.8	16 3.9
精神障害	34 100.0	7 20.6	2 5.9	4 11.8	2 5.9	9 26.5	3 8.8
難病	43 100.0	9 20.9	3 7.0	5 11.6	4 9.3	9 20.9	3 7.0
無回答	12 100.0	3 25.0	－	2 16.7	－	1 8.3	－

	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	178 31.3	38 6.7	67 11.8	186 32.7	37 6.5	32 5.6
身体障害	84 34.1	20 8.1	21 8.5	53 21.5	7 2.8	13 5.3
知的障害	138 33.7	26 6.4	58 14.2	144 35.2	30 7.3	24 5.9
精神障害	10 29.4	2 5.9	4 11.8	15 44.1	1 2.9	3 8.8
難病	18 41.9	4 9.3	6 14.0	8 18.6	5 11.6	5 11.6
無回答	1 8.3	－	1 8.3	7 58.3	2 16.7	－

問 26 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

「トイレに十分な広さがほしい」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 29.1%、「トイレの中に手すりをつけてほしい」の割合が 15.5%となっています。

障害種別でみると、他に比べ、身体障害で「トイレの中の段差をなくしてほしい」、「トイレの中に手すりをつけてほしい」の割合が高くなっています。また、精神障害で「絵文字表示を見やすくしてほしい」、「トイレに十分な広さがほしい」の割合が高くなっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	点字で男女 の別がわか るようにして ほしい	男女の別や ペーパーの 位置、洗浄ボ タン等を音声 案内で知らせ てほしい	絵文字表示を 見やすくして ほしい	トイレの中を 明るくしてほ しい	トイレの中の 段差をなくし てほしい	点字ブロック をつけてほ しい	便器等の位 置、向きを統 一してほしい
全 体	330 100.0	- -	10 3.0	17 5.2	34 10.3	40 12.1	- -	14 4.2
身体障害	126 100.0	- -	6 4.8	3 2.4	16 12.7	32 25.4	- -	9 7.1
知的障害	260 100.0	- -	8 3.1	15 5.8	27 10.4	25 9.6	- -	7 2.7
精神障害	35 100.0	- -	1 2.9	6 17.1	7 20.0	3 8.6	- -	2 5.7
難病	7 100.0	- -	- -	- -	- -	1 14.3	- -	1 14.3
無回答	6 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

	トイレの中に 手すりにつ けてほしい	エアタオルを つけてほしい	トイレに十分 な広さがほ しい	緊急通報ボタ ンをつけてほ しい	特にない	その他	無回答
全 体	51 15.5	30 9.1	101 30.6	6 1.8	96 29.1	48 14.5	46 13.9
身体障害	30 23.8	15 11.9	48 38.1	4 3.2	32 25.4	19 15.1	16 12.7
知的障害	39 15.0	22 8.5	78 30.0	5 1.9	81 31.2	37 14.2	30 11.5
精神障害	8 22.9	3 8.6	16 45.7	1 2.9	8 22.9	3 8.6	4 11.4
難病	1 14.3	2 28.6	2 28.6	- -	2 28.6	- -	3 42.9
無回答	- -	- -	- -	- -	2 33.3	- -	4 66.7

【身体障害の種類種別】

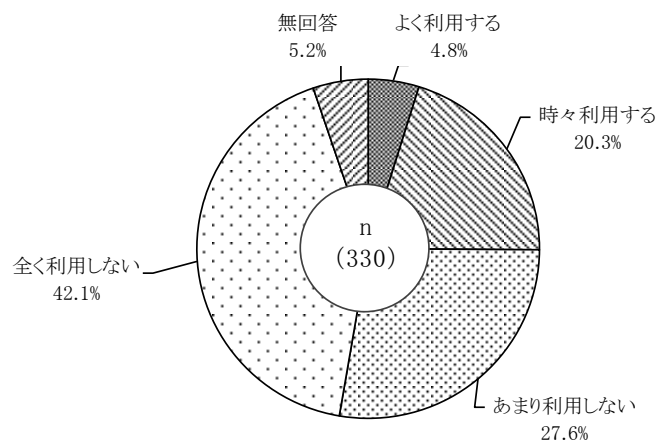
単位 上段:件、下段:%

	調査数	点字で男女 の別がわか るようにして ほしい	男女の別や ペーパーの 位置、洗浄ボ タン等を音声 案内で知らせ てほしい	絵文字表示を 見やすくして ほしい	トイレの中を 明るくしてほ しい	トイレの中の 段差をなくし てほしい	点字ブロック をつけてほ しい	便器等の位 置、向きを統 一してほしい
全 体	126 100.0	- -	6 4.8	3 2.4	16 12.7	32 25.4	- -	9 7.1
肢体不自由	105 100.0	- -	3 2.9	2 1.9	15 14.3	26 24.8	- -	7 6.7
音声・言語・ そしゃく機能障害	26 100.0	- -	1 3.8	1 3.8	2 7.7	4 15.4	- -	2 7.7
視覚障害	12 100.0	- -	3 25.0	1 8.3	2 16.7	6 50.0	- -	2 16.7
聴覚・平衡機能障害	10 100.0	- -	- -	- -	- -	2 20.0	- -	1 10.0
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	6 100.0	- -	1 16.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	- -	- -
無回答	5 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

	トイレの中に 手すりにつ けてほしい	エアタオルを つけてほしい	トイレに十分 な広さがほ しい	緊急通報ボタ ンをつけてほ しい	特にない	その他	無回答
全 体	30 23.8	15 11.9	48 38.1	4 3.2	32 25.4	19 15.1	16 12.7
肢体不自由	29 27.6	14 13.3	42 40.0	4 3.8	23 21.9	18 17.1	13 12.4
音声・言語・ そしゃく機能障害	5 19.2	5 19.2	7 26.9	2 7.7	5 19.2	6 23.1	7 26.9
視覚障害	2 16.7	1 8.3	4 33.3	- -	3 25.0	2 16.7	1 8.3
聴覚・平衡機能障害	1 10.0	2 20.0	4 40.0	- -	6 60.0	- -	- -
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	2 33.3	- -	3 50.0	- -	2 33.3	1 16.7	1 16.7
無回答	- -	- -	2 40.0	- -	3 60.0	- -	- -

問 27 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

「よく利用する」と「時々利用する」をあわせた“利用する”の割合が 25.1%、「あまり利用しない」と「全く利用しない」をあわせた“利用しない”の割合が 69.7%となっています。



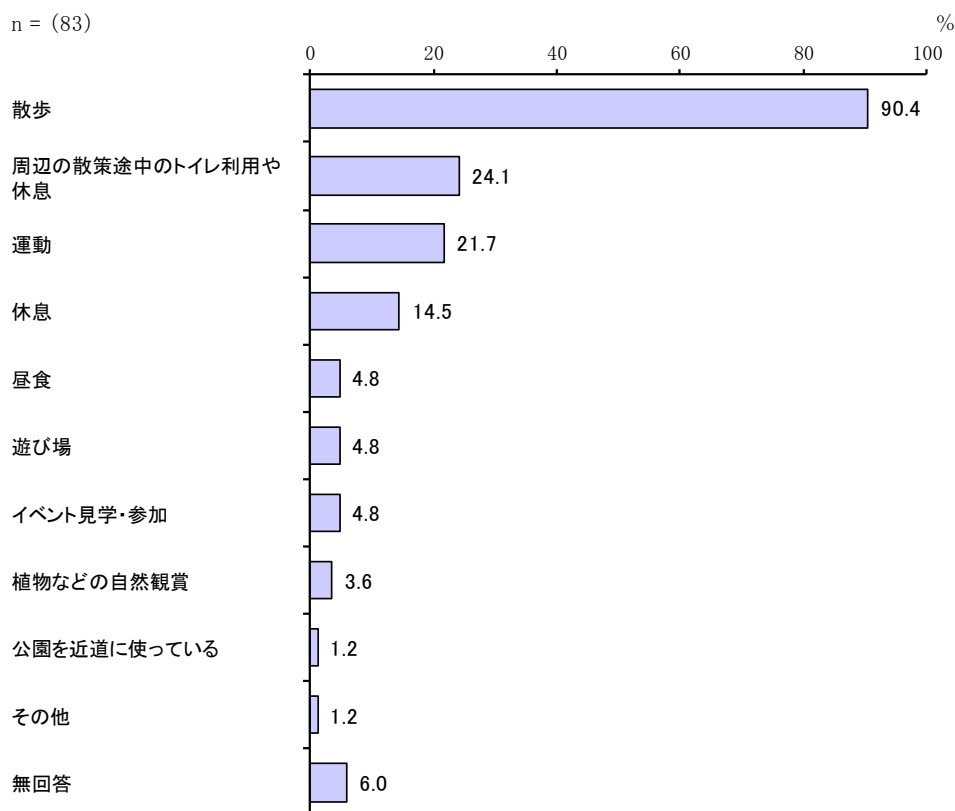
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	全く利用しない	無回答
全 体	330 100.0	16 4.8	67 20.3	91 27.6	139 42.1	17 5.2
身体障害	126 100.0	4 3.2	24 19.0	36 28.6	59 46.8	3 2.4
知的障害	260 100.0	15 5.8	57 21.9	68 26.2	109 41.9	11 4.2
精神障害	35 100.0	2 5.7	5 14.3	10 28.6	16 45.7	2 5.7
難病	7 100.0	—	—	2 28.6	4 57.1	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	1 16.7	2 33.3	3 50.0

問 28 【問 27 で「よく利用する」または「時々利用する」に○をつけた方におたずねします。】
あなたが公園を利用する目的は何ですか。（○はいくつでも）

「散歩」の割合が 90.4%と最も高く、次いで「周辺の散策途中のトイレ利用や休息」の割合が 24.1%、「運動」の割合が 21.7%となっています。



【障害種別】

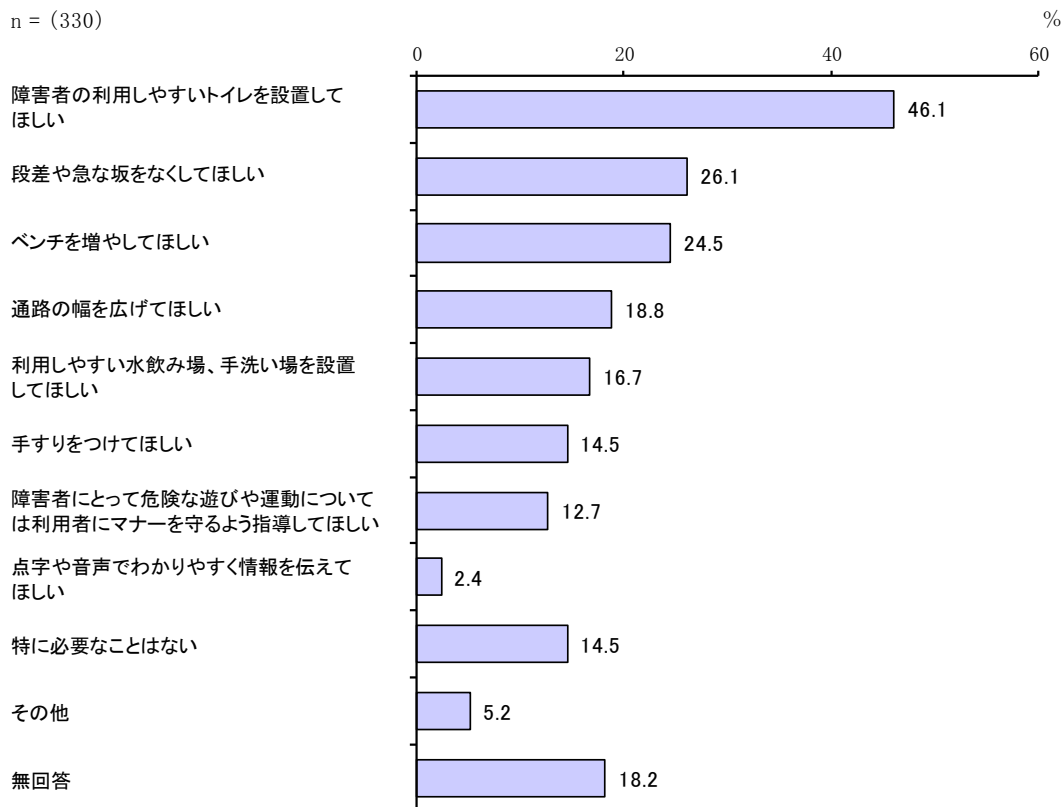
単位 上段:件、下段:%

	調査数	散歩	運動	休息	植物などの自然観賞	昼食	公園を近道に使っている	周辺の散策途中のトイレ利用や休息	遊び場	イベント見学・参加	その他	無回答
全 体	83 100.0	75 90.4	18 21.7	12 14.5	3 3.6	4 4.8	1 1.2	20 24.1	4 4.8	4 4.8	1 1.2	5 6.0
身体障害	28 100.0	26 92.9	6 21.4	4 14.3	1 3.6	-	1 3.6	2 7.1	3 10.7	1 3.6	1 3.6	-
知的障害	72 100.0	65 90.3	17 23.6	12 16.7	2 2.8	4 5.6	-	19 26.4	4 5.6	4 5.6	1 1.4	5 6.9
精神障害	7 100.0	6 85.7	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-	-	3 42.9	-	1 14.3	-	-
難病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 29 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「段差や急な坂をなくしてほしい」の割合が 26.1%、「ベンチを増やしてほしい」の割合が 24.5%となっています。

n = (330)



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通路の幅を広げてほしい	手すりをつけてほしい	段差や急な坂をなくしてほしい	点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい	障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい
全 体	330 100.0	62 18.8	48 14.5	86 26.1	8 2.4	152 46.1
身体障害	126 100.0	41 32.5	27 21.4	60 47.6	5 4.0	65 51.6
知的障害	260 100.0	42 16.2	35 13.5	59 22.7	6 2.3	118 45.4
精神障害	35 100.0	2 5.7	7 20.0	7 20.0	1 2.9	21 60.0
難病	7 100.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	1 14.3	4 57.1
無回答	6 100.0	-	-	-	-	-

	障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい	ベンチを増やしてほしい	利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	42 12.7	81 24.5	55 16.7	48 14.5	17 5.2	60 18.2
身体障害	18 14.3	27 21.4	22 17.5	13 10.3	8 6.3	18 14.3
知的障害	34 13.1	71 27.3	42 16.2	44 16.9	15 5.8	40 15.4
精神障害	2 5.7	9 25.7	7 20.0	6 17.1	2 5.7	4 11.4
難病	1 14.3	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3	2 28.6
無回答	-	-	-	1 16.7	-	5 83.3

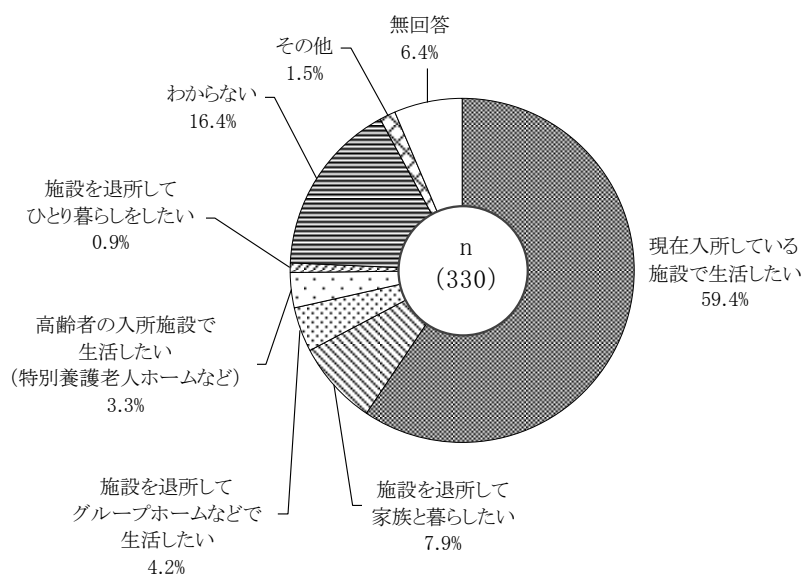
(8) 将来について

問 30 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

「現在入所している施設で生活したい」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 16.4%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、40～49 歳で「現在入所している施設で生活したい」の割合が高く、6 割半ばとなっています。また、60～69 歳で「高齢者の入所施設で生活したい（特別養護老人ホームなど）」の割合が高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「現在入所している施設で生活したい」の割合が増加しています。一方、「施設を退所して家族と暮らしたい」の割合が減少しています。また、身体障害のある方では、「現在入所している施設で生活したい」の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	施設を退所して家族と暮らしたい	施設を退所してひとり暮らしをしたい	施設を退所してグループホームなどで生活したい	現在入所している施設で生活したい	高齢者の入所施設で生活したい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	330 100.0	26 7.9	3 0.9	14 4.2	196 59.4	11 3.3	54 16.4	5 1.5	21 6.4
身体障害	126 100.0	12 9.5	2 1.6	3 2.4	83 65.9	5 4.0	16 12.7	3 2.4	2 1.6
知的障害	260 100.0	14 5.4	2 0.8	13 5.0	154 59.2	7 2.7	48 18.5	4 1.5	18 6.9
精神障害	35 100.0	2 5.7	—	1 2.9	18 51.4	—	9 25.7	2 5.7	3 8.6
難病	7 100.0	—	—	—	4 57.1	—	1 14.3	1 14.3	1 14.3
無回答	6 100.0	2 33.3	—	—	2 33.3	1 16.7	—	—	1 16.7

【年齢別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	施設を退所して家族と暮らしたい	施設を退所してひとり暮らしをしたい	施設を退所してグループホームなどで生活したい	現在入所している施設で生活したい	高齢者の入所施設で生活したい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	330 100.0	26 7.9	3 0.9	14 4.2	196 59.4	11 3.3	54 16.4	5 1.5	21 6.4
20歳未満	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
20歳～29歳	29 100.0	3 10.3	1 3.4	1 3.4	15 51.7	1 3.4	5 17.2	1 3.4	2 6.9
30歳～39歳	63 100.0	7 11.1	-	3 4.8	35 55.6	1 1.6	11 17.5	2 3.2	4 6.3
40歳～49歳	116 100.0	5 4.3	1 0.9	5 4.3	77 66.4	-	19 16.4	2 1.7	7 6.0
50歳～59歳	75 100.0	3 4.0	1 1.3	4 5.3	43 57.3	4 5.3	14 18.7	-	6 8.0
60歳～69歳	32 100.0	5 15.6	-	1 3.1	20 62.5	4 12.5	2 6.3	-	-
70歳～79歳	9 100.0	-	-	-	6 66.7	1 11.1	1 11.1	-	1 11.1
80歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	5 100.0	3 60.0	-	-	-	-	2 40.0	-	-

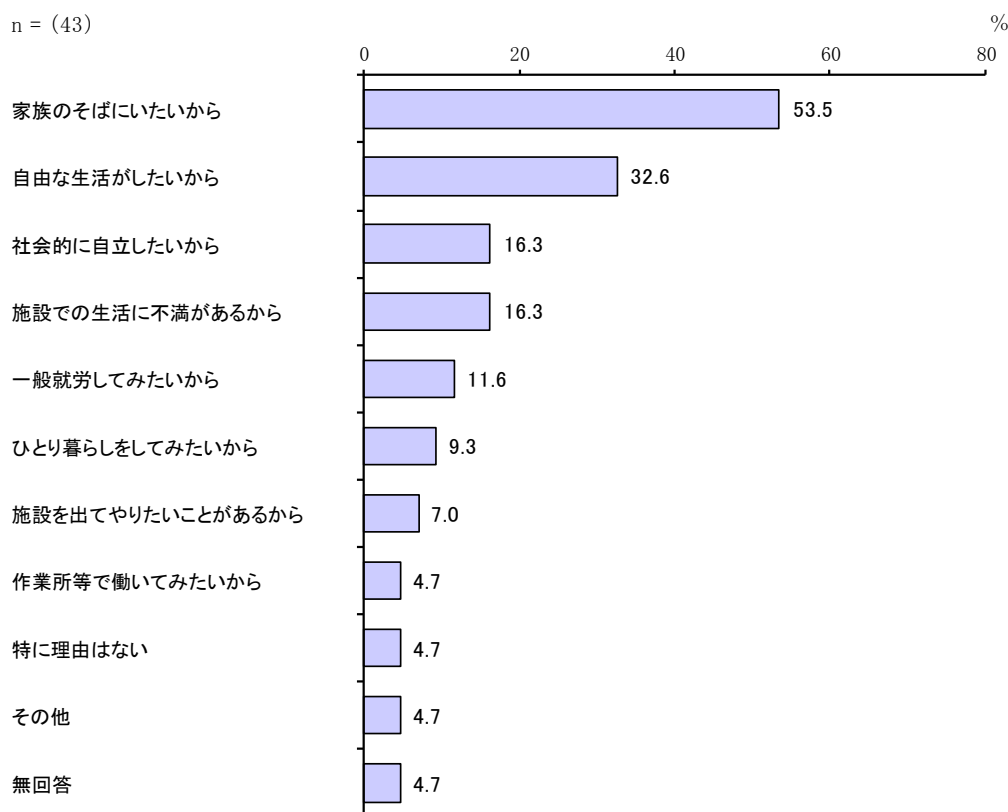
【平成 28 年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	施設を退所して家族と暮らしたい	施設を退所してひとり暮らしをしたい	施設を退所してグループホームなどで生活したい	現在入所している施設で生活したい	高齢者の入所施設で生活したい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	568 100.0	74 13.0	14 2.5	26 4.6	279 49.1	21 3.7	138 24.3	6 1.1	10 1.8
身体障害	246 100.0	43 17.5	9 3.7	6 2.4	120 48.8	11 4.5	48 19.5	3 1.2	6 2.4
知的障害	409 100.0	39 9.5	3 0.7	22 5.4	209 51.1	16 3.9	111 27.1	1 0.2	8 2.0
精神障害	34 100.0	4 11.8	1 2.9	2 5.9	16 47.1	-	10 29.4	-	1 2.9
難病	43 100.0	7 16.3	-	2 4.7	24 55.8	1 2.3	8 18.6	1 2.3	-
無回答	12 100.0	1 8.3	1 8.3	-	3 25.0	-	6 50.0	1 8.3	-

問 31 【問 30 で将来は施設を退所したい（１～３番）に○をつけた方におたずねします。】
施設を退所したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

「家族のそばにいたいから」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「自由な生活がしたいから」の割合が 32.6%、「社会的に自立したいから」、「施設での生活に不満があるから」の割合が 16.3%となっています。



【障害種別】

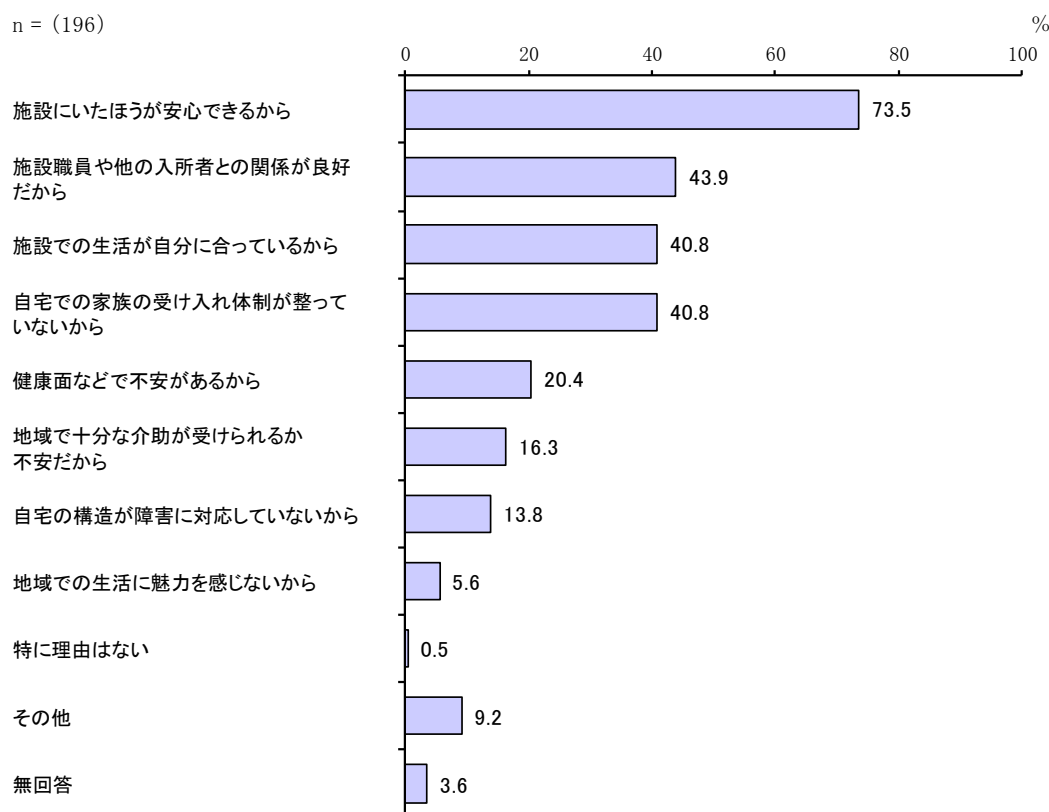
単位 上段:件、下段:%

	調査数	家族のそばにいたいから	ひとり暮らしをしてみたいから	自由な生活がしたいから	社会的に自立したいから	施設を出てやりたいことがあるから	一般就労してみたいから	作業所等で働いてみたいから	施設での生活に不満があるから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	43 100.0	23 53.5	4 9.3	14 32.6	7 16.3	3 7.0	5 11.6	2 4.7	7 16.3	2 4.7	2 4.7	2 4.7
身体障害	17 100.0	12 70.6	3 17.6	6 35.3	3 17.6	2 11.8	3 17.6	1 5.9	3 17.6	-	-	-
知的障害	29 100.0	13 44.8	2 6.9	9 31.0	5 17.2	1 3.4	2 6.9	1 3.4	3 10.3	2 6.9	1 3.4	2 6.9
精神障害	3 100.0	2 66.7	-	2 66.7	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-
難病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-

問 32 【問 30 で現在入所している施設で生活したい（４番）に○をつけた方におたずねします。】

今の施設での生活が続けたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

「施設にいたほうが安心できるから」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「施設職員や他の入所者との関係が良好だから」の割合が 43.9%、「施設での生活が自分に合っているから」、「自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから」の割合が 40.8%となっています。



【障害種別】

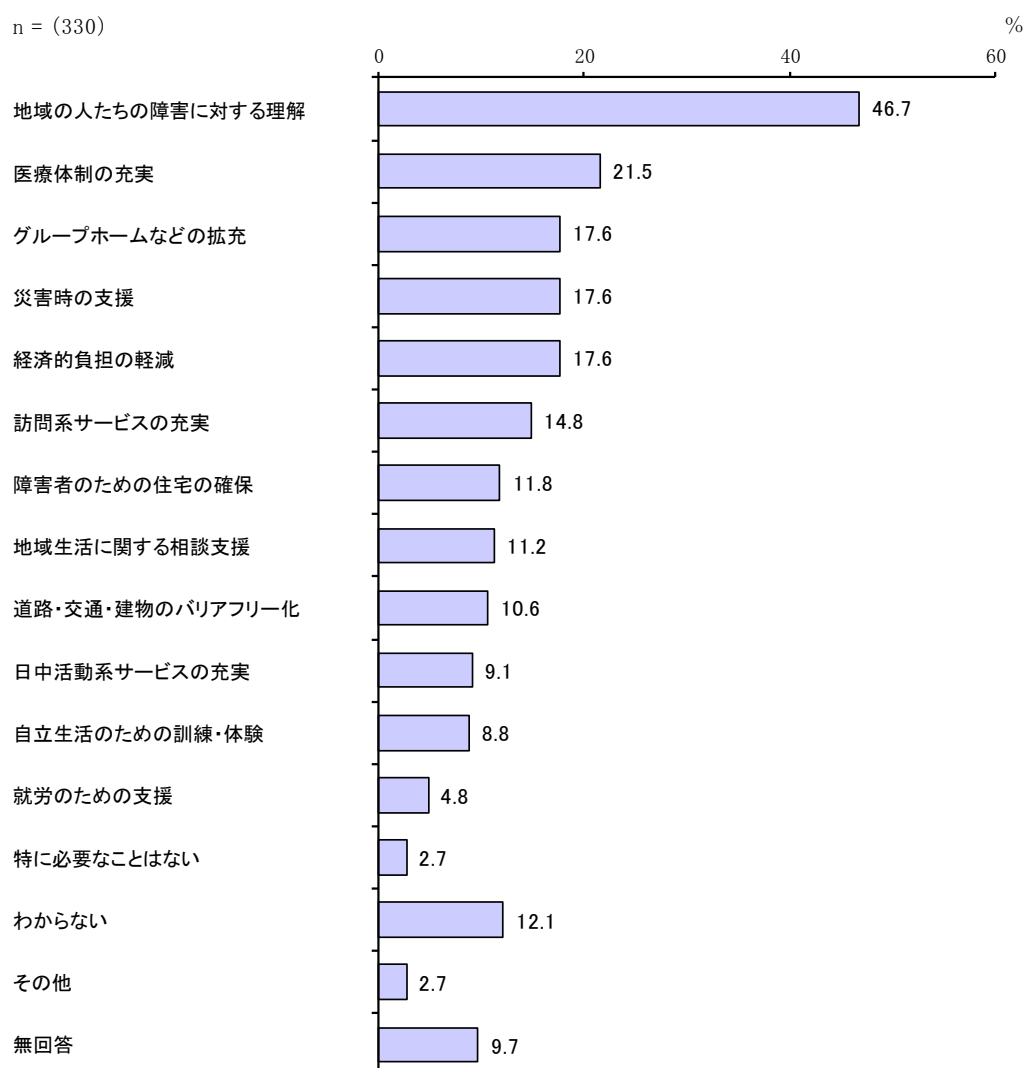
単位 上段:件、下段:%

	調査数	施設にいたほうが安心できるから	施設での生活が自分に合っているから	施設職員や他の入所者との関係が良好だから	健康面などで不安があるから	自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから	自宅の構造が障害に対応していないから	地域で十分な介助が受けられるか不安だから	地域での生活に魅力を感じないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	196	144	80	86	40	80	27	32	11	1	18	7
	100.0	73.5	40.8	43.9	20.4	40.8	13.8	16.3	5.6	0.5	9.2	3.6
身体障害	83	59	27	32	20	35	20	10	2	1	7	4
	100.0	71.1	32.5	38.6	24.1	42.2	24.1	12.0	2.4	1.2	8.4	4.8
知的障害	154	115	69	70	30	58	18	30	11	1	13	5
	100.0	74.7	44.8	45.5	19.5	37.7	11.7	19.5	7.1	0.6	8.4	3.2
精神障害	18	16	7	9	6	11	3	1	1	—	—	—
	100.0	88.9	38.9	50.0	33.3	61.1	16.7	5.6	5.6	—	—	—
難病	4	4	1	2	—	3	1	1	—	—	—	—
	100.0	100.0	25.0	50.0	—	75.0	25.0	25.0	—	—	—	—
無回答	2	2	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—
	100.0	100.0	50.0	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—

問 33 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「地域の人たちの障害に対する理解」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「医療体制の充実」の割合が 21.5%、「グループホームなどの拡充」、「災害時の支援」の割合が 17.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」、「地域生活に関する相談支援」、「訪問系サービスの充実」、「日中活動系サービスの充実」、「障害者のための住宅の確保」、「医療体制の充実」、「災害時の支援」、「道路・交通・建物のバリアフリー化」、「経済的負担の軽減」、「特に必要なことはない」の割合が減少しています。また、精神障害のある方では、「障害者のための住宅の確保」の割合が減少しています。



※令和元年度調査の「わからない」は新たに追加された選択肢です。

【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実
全 体	330 100.0	154 46.7	37 11.2	49 14.8	30 9.1	29 8.8	58 17.6	39 11.8	71 21.5
身体障害	126 100.0	56 44.4	12 9.5	30 23.8	13 10.3	12 9.5	16 12.7	11 8.7	36 28.6
知的障害	260 100.0	129 49.6	30 11.5	34 13.1	23 8.8	20 7.7	54 20.8	36 13.8	53 20.4
精神障害	35 100.0	18 51.4	6 17.1	6 17.1	2 5.7	1 2.9	6 17.1	6 17.1	9 25.7
難病	7 100.0	3 42.9	—	1 14.3	—	—	—	1 14.3	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全 体	16 4.8	58 17.6	35 10.6	58 17.6	9 2.7	40 12.1	9 2.7	32 9.7
身体障害	6 4.8	21 16.7	25 19.8	28 22.2	1 0.8	17 13.5	2 1.6	6 4.8
知的障害	14 5.4	47 18.1	18 6.9	41 15.8	9 3.5	30 11.5	8 3.1	25 9.6
精神障害	1 2.9	8 22.9	7 20.0	4 11.4	1 2.9	3 8.6	—	4 11.4
難病	—	2 28.6	1 14.3	2 28.6	—	—	—	2 28.6
無回答	—	—	—	1 16.7	—	3 50.0	—	2 33.3

【平成 28 年度調査】

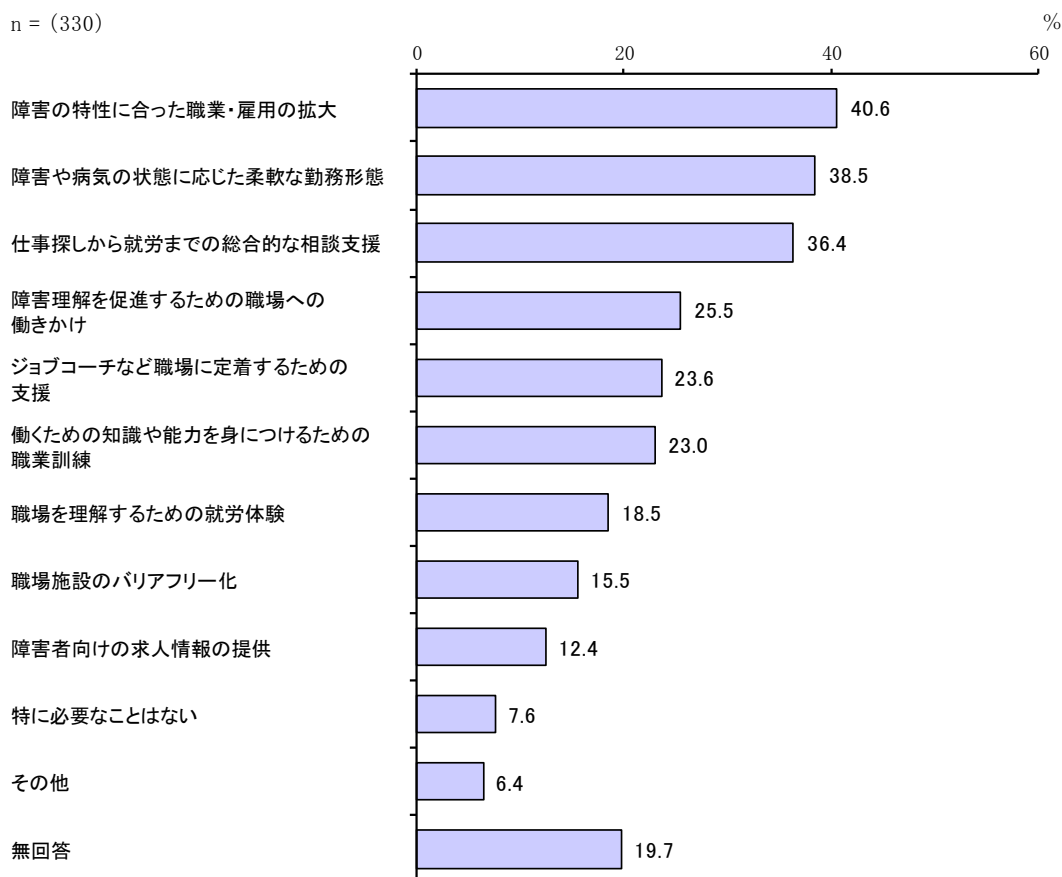
単位 上段:件、下段:%

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実
全 体	568 100.0	348 61.3	116 20.4	141 24.8	125 22.0	73 12.9	123 21.7	141 24.8	198 34.9
身体障害	246 100.0	144 58.5	56 22.8	83 33.7	51 20.7	34 13.8	46 18.7	58 23.6	97 39.4
知的障害	409 100.0	262 64.1	78 19.1	87 21.3	95 23.2	49 12.0	103 25.2	108 26.4	143 35.0
精神障害	34 100.0	22 64.7	10 29.4	9 26.5	7 20.6	8 23.5	6 17.6	19 55.9	16 47.1
難病	43 100.0	24 55.8	15 34.9	12 27.9	7 16.3	9 20.9	11 25.6	10 23.3	17 39.5
無回答	12 100.0	3 25.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	2 16.7	1 8.3	3 25.0	2 16.7

	就労のための支援	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全 体	49 8.6	137 24.1	119 21.0	170 29.9	59 10.4		36 6.3	19 3.3
身体障害	21 8.5	54 22.0	78 31.7	74 30.1	17 6.9		9 3.7	10 4.1
知的障害	35 8.6	107 26.2	76 18.6	136 33.3	42 10.3		32 7.8	11 2.7
精神障害	5 14.7	12 35.3	12 35.3	9 26.5	2 5.9		3 8.8	—
難病	5 11.6	16 37.2	13 30.2	17 39.5	3 7.0		3 7.0	1 2.3
無回答	—	1 8.3	1 8.3	2 16.7	3 25.0		1 8.3	2 16.7

問 34 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態」の割合が 38.5%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」の割合が 36.4%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

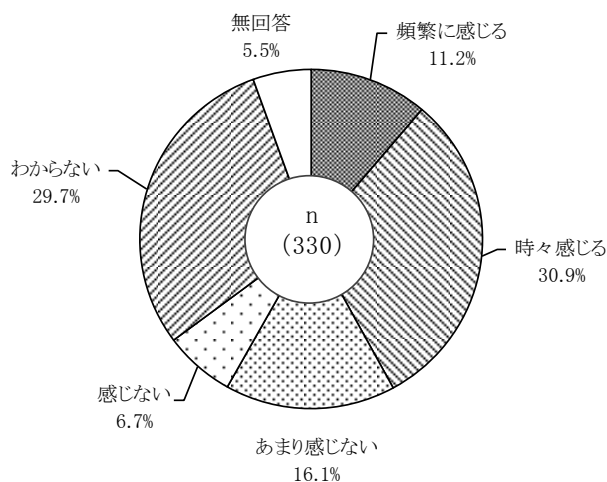
	調査数	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態	ジョブコーチなど職場に定着するための支援	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	330 100.0	120 36.4	76 23.0	61 18.5	134 40.6	41 12.4	84 25.5	51 15.5	127 38.5	78 23.6	25 7.6	21 6.4	65 19.7
身体障害	126 100.0	47 37.3	32 25.4	22 17.5	57 45.2	18 14.3	31 24.6	36 28.6	53 42.1	25 19.8	8 6.3	7 5.6	25 19.8
知的障害	260 100.0	98 37.7	59 22.7	47 18.1	106 40.8	28 10.8	66 25.4	29 11.2	98 37.7	67 25.8	21 8.1	17 6.5	45 17.3
精神障害	35 100.0	14 40.0	10 28.6	11 31.4	8 22.9	7 20.0	10 28.6	8 22.9	11 31.4	10 28.6	3 8.6	3 8.6	6 17.1
難病	7 100.0	2 28.6	3 42.9	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6	2 28.6	5 71.4	1 14.3	—	—	2 28.6
無回答	6 100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 16.7	—	5 83.3

(9) 障害のある人に対する理解度

問 35 あなたは、普段の生活のなかで、差別を感じることはありませんか。(○は1つ)

「頻繁に感じる」と「時々感じる」をあわせた“感じる”の割合が42.1%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が22.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、“感じる”の割合が増加しています。また、精神障害のある方では、“感じる”の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	330 100.0	37 11.2	102 30.9	53 16.1	22 6.7	98 29.7	18 5.5
身体障害	126 100.0	11 8.7	43 34.1	24 19.0	10 7.9	31 24.6	7 5.6
知的障害	260 100.0	31 11.9	82 31.5	38 14.6	14 5.4	86 33.1	9 3.5
精神障害	35 100.0	3 8.6	15 42.9	2 5.7	3 8.6	9 25.7	3 8.6
難病	7 100.0	—	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	—	1 16.7	3 50.0	2 33.3

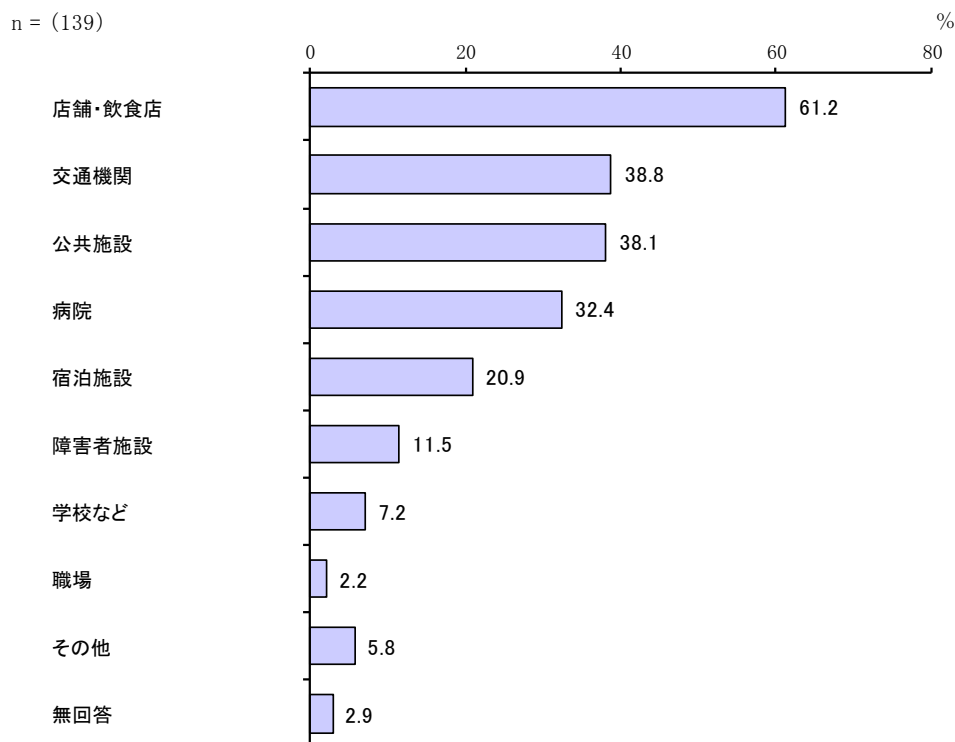
【平成28年度調査】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	568 100.0	28 4.9	173 30.5	79 13.9	57 10.0	211 37.1	20 3.5
身体障害	246 100.0	8 3.3	81 32.9	38 15.4	33 13.4	78 31.7	8 3.3
知的障害	409 100.0	23 5.6	122 29.8	52 12.7	29 7.1	167 40.8	16 3.9
精神障害	34 100.0	2 5.9	6 17.6	7 20.6	4 11.8	14 41.2	1 2.9
難病	43 100.0	5 11.6	12 27.9	6 14.0	6 14.0	12 27.9	2 4.7
無回答	12 100.0	—	4 33.3	1 8.3	4 33.3	3 25.0	—

問 36 差別を感じた経験のある方におたずねします。それはどのような場所でありましたか。（〇はいくつでも）

「店舗・飲食店」の割合が61.2%と最も高く、次いで「交通機関」の割合が38.8%、「公共施設」の割合が38.1%となっています。



【障害種別】

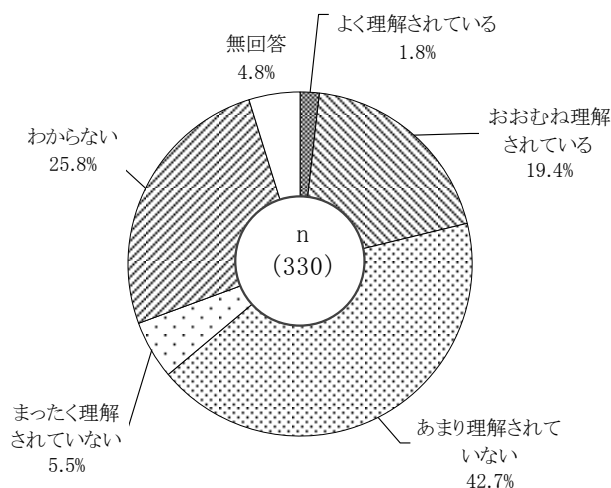
単位 上段:件、下段: %

	調査数	職場	学校など	障害者施設	病院	店舗・飲食店	公共施設	宿泊施設	交通機関	その他	無回答
全 体	139 100.0	3 2.2	10 7.2	16 11.5	45 32.4	85 61.2	53 38.1	29 20.9	54 38.8	8 5.8	4 2.9
身体障害	54 100.0	2 3.7	2 3.7	8 14.8	14 25.9	36 66.7	18 33.3	12 22.2	19 35.2	2 3.7	1 1.9
知的障害	113 100.0	1 0.9	10 8.8	12 10.6	39 34.5	68 60.2	48 42.5	24 21.2	47 41.6	6 5.3	3 2.7
精神障害	18 100.0	1 5.6	1 5.6	2 11.1	9 50.0	14 77.8	7 38.9	4 22.2	4 22.2	1 5.6	-
難病	3 100.0	-	-	-	1 33.3	2 66.7	-	1 33.3	-	1 33.3	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 37 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。
(○は1つ)

「よく理解されている」と「おおむね理解されている」をあわせた“理解されている”の割合が21.2%、「あまり理解されていない」と「まったく理解されていない」をあわせた“理解されていない”の割合が48.2%、「わからない」の割合が25.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、“理解されている”の割合が増加しています。また、精神障害のある方では、“理解されていない”の割合が増加しています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	330	6	64	141	18	85	16
	100.0	1.8	19.4	42.7	5.5	25.8	4.8
身体障害	126	2	33	53	5	29	4
	100.0	1.6	26.2	42.1	4.0	23.0	3.2
知的障害	260	5	40	119	16	71	9
	100.0	1.9	15.4	45.8	6.2	27.3	3.5
精神障害	35	—	3	16	2	11	3
	100.0	—	8.6	45.7	5.7	31.4	8.6
難病	7	—	1	3	—	2	1
	100.0	—	14.3	42.9	—	28.6	14.3
無回答	6	—	1	—	—	3	2
	100.0	—	16.7	—	—	50.0	33.3

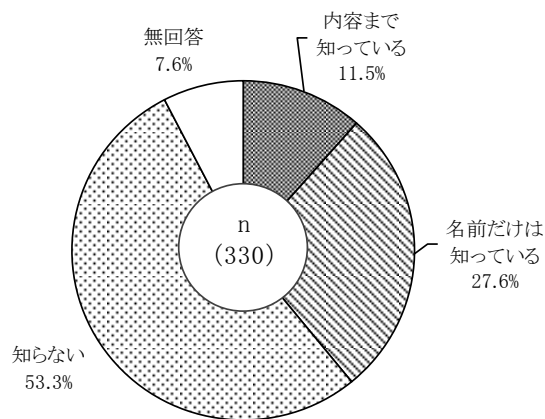
【平成28年度調査】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	568	3	82	204	20	249	10
	100.0	0.5	14.4	35.9	3.5	43.8	1.8
身体障害	246	2	48	81	6	103	6
	100.0	0.8	19.5	32.9	2.4	41.9	2.4
知的障害	409	2	51	150	17	182	7
	100.0	0.5	12.5	36.7	4.2	44.5	1.7
精神障害	34	—	7	8	—	19	—
	100.0	—	20.6	23.5	—	55.9	—
難病	43	—	7	19	3	14	—
	100.0	—	16.3	44.2	7.0	32.6	—
無回答	12	—	2	4	—	6	—
	100.0	—	16.7	33.3	—	50.0	—

問 38 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 27.6%、「内容まで知っている」の割合が 11.5%となっています。



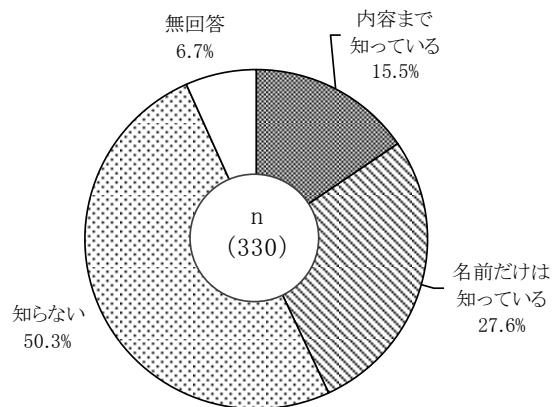
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	330 100.0	38 11.5	91 27.6	176 53.3	25 7.6
身体障害	126 100.0	18 14.3	40 31.7	59 46.8	9 7.1
知的障害	260 100.0	31 11.9	68 26.2	145 55.8	16 6.2
精神障害	35 100.0	3 8.6	11 31.4	18 51.4	3 8.6
難病	7 100.0	1 14.3	1 14.3	4 57.1	1 14.3
無回答	6 100.0	-	-	3 50.0	3 50.0

問 39 障害者への虐待を発見した場合や障害者が虐待を受けた場合に、市へ通報や届出をする「障害者虐待防止法」が平成 24 年 10 月 1 日に施行されましたが、その法律について知っていますか。(○は 1 つ)

「知らない」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」の割合が 27.6%、「内容まで知っている」の割合が 15.5%となっています。



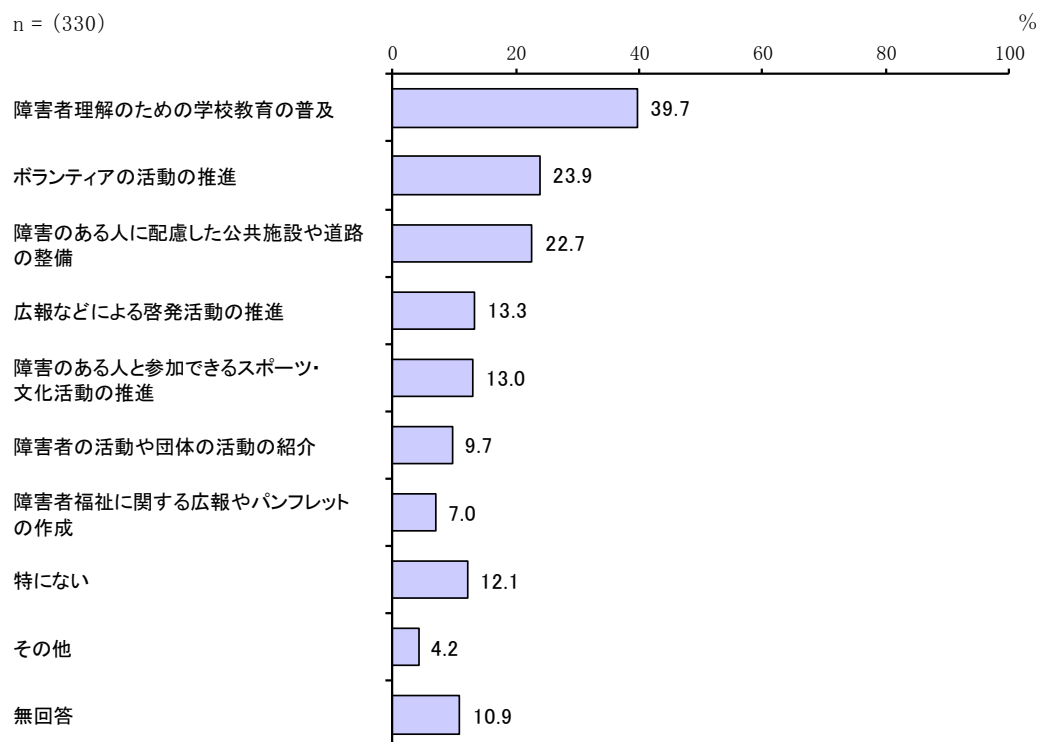
【障害種別】

単位 上段: 件、下段: %

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	330 100.0	51 15.5	91 27.6	166 50.3	22 6.7
身体障害	126 100.0	24 19.0	40 31.7	53 42.1	9 7.1
知的障害	260 100.0	40 15.4	72 27.7	135 51.9	13 5.0
精神障害	35 100.0	6 17.1	8 22.9	18 51.4	3 8.6
難病	7 100.0	1 14.3	2 28.6	3 42.9	1 14.3
無回答	6 100.0	— —	— —	3 50.0	3 50.0

問 40 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。（○は2つまで）

「障害者理解のための学校教育の普及」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「ボランティアの活動の推進」の割合が 23.9%、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」の割合が 22.7%となっています。



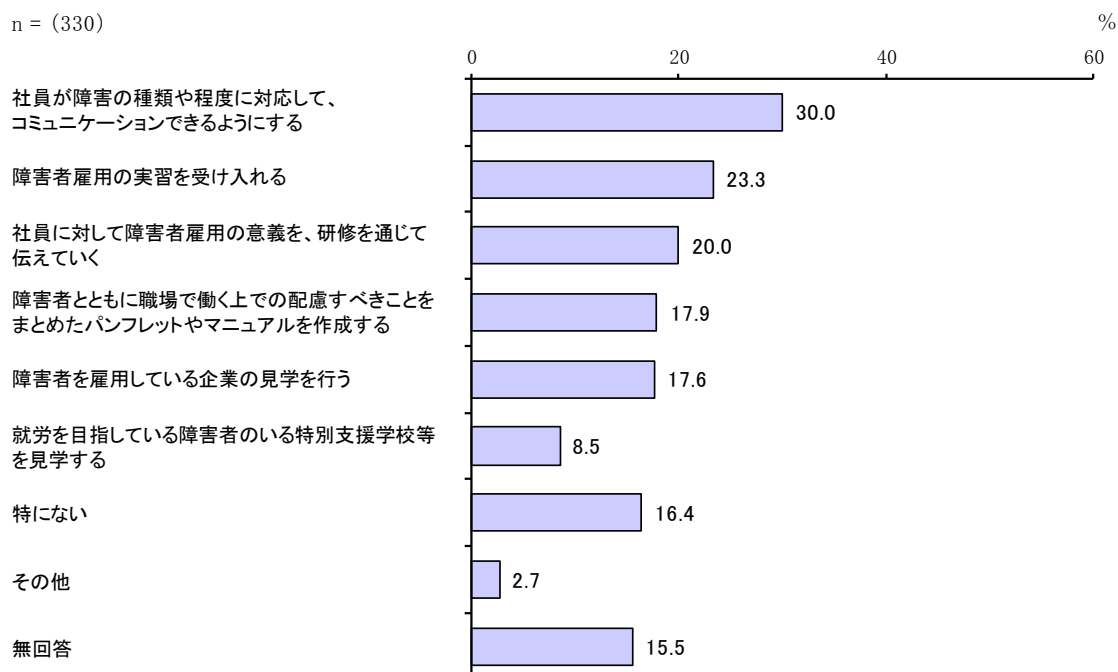
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	障害者理解のための学校教育の普及	広報などによる啓発活動の推進	障害者の活動や団体の活動の紹介	ボランティアの活動の推進	障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進	障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備	障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成	特にない	その他	無回答
全 体	330 100.0	131 39.7	44 13.3	32 9.7	79 23.9	43 13.0	75 22.7	23 7.0	40 12.1	14 4.2	36 10.9
身体障害	126 100.0	46 36.5	17 13.5	12 9.5	32 25.4	18 14.3	44 34.9	10 7.9	15 11.9	5 4.0	9 7.1
知的障害	260 100.0	108 41.5	35 13.5	24 9.2	63 24.2	36 13.8	55 21.2	17 6.5	31 11.9	13 5.0	25 9.6
精神障害	35 100.0	14 40.0	3 8.6	4 11.4	6 17.1	3 8.6	8 22.9	4 11.4	6 17.1	1 2.9	4 11.4
難病	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	3 42.9	—	2 28.6	2 28.6	—	—	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	1 16.7	—	—	—	—	2 33.3	—	3 50.0

問 41 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。（○は2つまで）

「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」の割合が30.0%と最も高く、次いで「障害者雇用の実習を受け入れる」の割合が23.3%、「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」の割合が20.0%となっています。



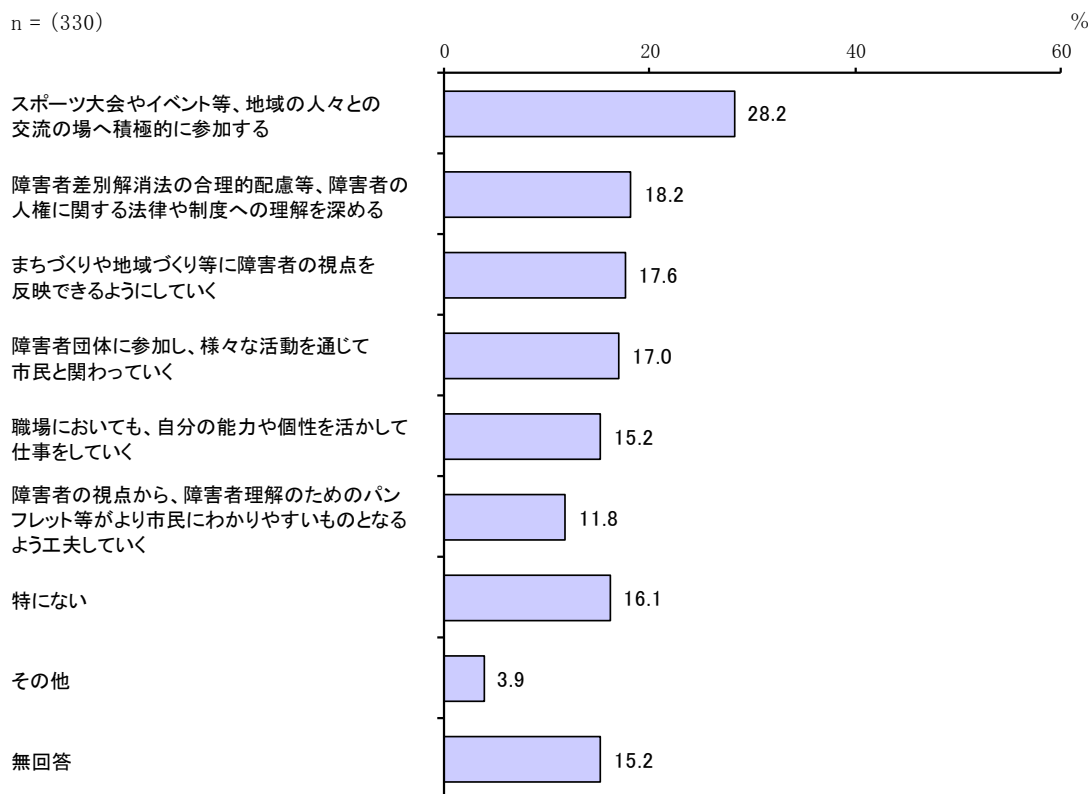
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく	就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する	障害者を雇用している企業の見学を行う	障害者雇用の実習を受け入れる	社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする	障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する	特にない	その他	無回答
全 体	330 100.0	66 20.0	28 8.5	58 17.6	77 23.3	99 30.0	59 17.9	54 16.4	9 2.7	51 15.5
身体障害	126 100.0	29 23.0	9 7.1	29 23.0	25 19.8	42 33.3	20 15.9	20 15.9	3 2.4	18 14.3
知的障害	260 100.0	52 20.0	22 8.5	37 14.2	68 26.2	81 31.2	49 18.8	43 16.5	8 3.1	36 13.8
精神障害	35 100.0	6 17.1	3 8.6	6 17.1	13 37.1	11 31.4	6 17.1	7 20.0	—	4 11.4
難病	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	2 28.6	3 42.9	—	1 14.3	—	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	—	—	1 16.7	1 16.7	2 33.3	—	3 50.0

問 42 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」の割合が 18.2%、「まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく」の割合が 17.6%となっています。



【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

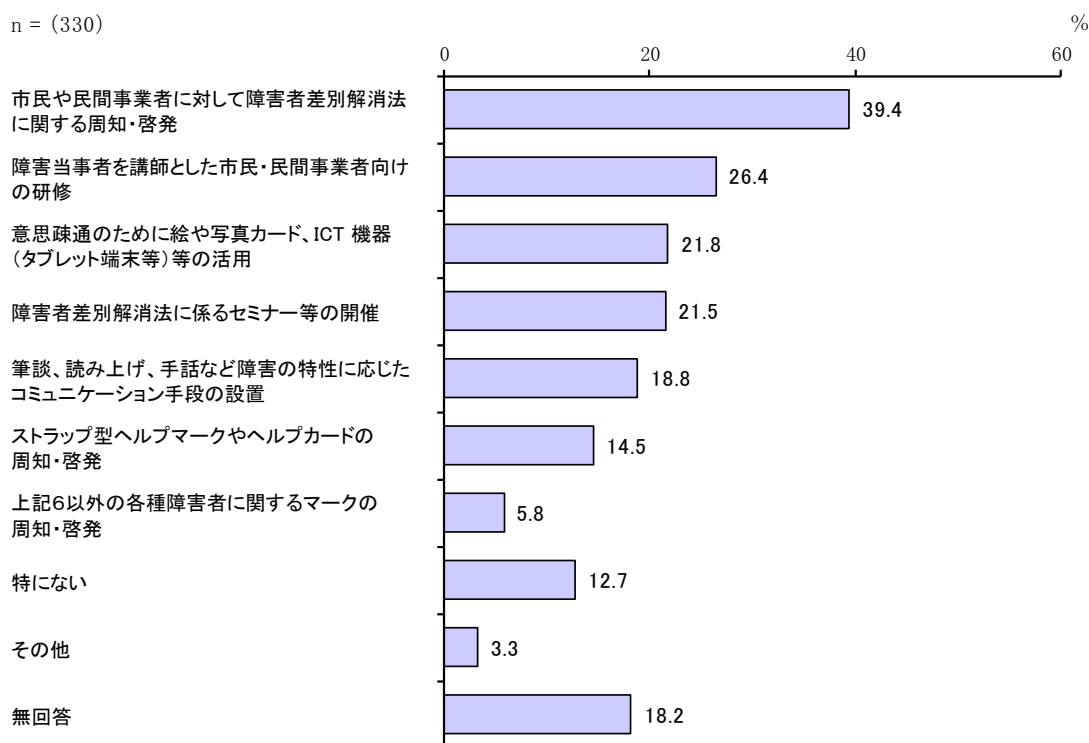
	調査数	障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める	スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する	まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく	障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく	障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく	職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく	特にない	その他	無回答
全 体	330 100.0	60 18.2	93 28.2	58 17.6	56 17.0	39 11.8	50 15.2	53 16.1	13 3.9	50 15.2
身体障害	126 100.0	29 23.0	35 27.8	30 23.8	19 15.1	14 11.1	15 11.9	21 16.7	5 4.0	19 15.1
知的障害	260 100.0	48 18.5	78 30.0	42 16.2	50 19.2	29 11.2	41 15.8	41 15.8	10 3.8	35 13.5
精神障害	35 100.0	2 5.7	8 22.9	7 20.0	8 22.9	8 22.9	5 14.3	8 22.9	-	5 14.3
難病	7 100.0	1 14.3	-	2 28.6	-	3 42.9	-	3 42.9	-	1 14.3
無回答	6 100.0	-	-	-	-	1 16.7	-	2 33.3	-	3 50.0

問 43 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われるですか。（〇は3つまで）

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」の割合が39.4%と最も高く、次いで「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」の割合が26.4%、「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が21.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、全体では、「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」、「障害者差別解消法に係るセミナー等の開催」、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」、「筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置」、「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用」の割合が増加しています。また、身体障害のある方では、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」の割合が増加しています。

n = (330)



※令和元年度調査の「ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発」、「上記以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発」は新たに追加された選択肢です。

平成28年度調査の「各種障害者に関するマークの周知・啓発」は令和元年度調査にはありません。

【障害種別】

単位 上段：件、下段：%

	調査数	市民や民間事業者 に対して 障害者差別 解消法に 関する周知・啓 発	障害者差別 解消法に係るセミ ナー等の開催	障害当事 者を講師 とした市 民・民間 事業者向 けの研修	筆談、読 み上げ、 手話など 障害の特 性に た に た コ ミ ュ ニ ケー ション 手段の設 置	意思疎通 のために 絵や写真 カード、 ICT 機器 (タブレット 端末等) 等の活用	ストラップ 型ヘルプ マークや ヘルプ カードの 周知・啓 発	上記以外 の各種障 害者に 関するマ ークの周 知・啓 発	特にない	その他	無回答
全 体	330 100.0	130 39.4	71 21.5	87 26.4	62 18.8	72 21.8	48 14.5	19 5.8	42 12.7	11 3.3	60 18.2
身体障害	126 100.0	47 37.3	32 25.4	40 31.7	32 25.4	23 18.3	20 15.9	7 5.6	16 12.7	5 4.0	19 15.1
知的障害	260 100.0	110 42.3	57 21.9	69 26.5	42 16.2	59 22.7	39 15.0	15 5.8	33 12.7	9 3.5	44 16.9
精神障害	35 100.0	10 28.6	6 17.1	11 31.4	11 31.4	7 20.0	4 11.4	5 14.3	6 17.1	-	6 17.1
難病	7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	3 42.9	-	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	-	-	-	1 16.7	-	4 66.7

【平成 28 年度調査】

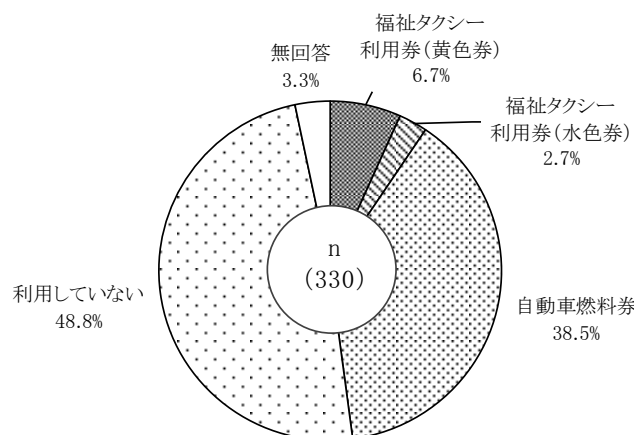
単位 上段：件、下段：%

	調査数	市民や民間事業者 に対して 障害者差別 解消法に 関する周知・啓 発	障害者差別 解消法に係るセミ ナー等の開催	障害当事 者を講師 とした市 民・民間 事業者向 けの研修	筆談、読 み上げ、 手話など 障害の特 性に た に た コ ミ ュ ニ ケー ション 手段の設 置	意思疎通 のために 絵や写真 カード、 ICT 機器 (タブレット 端末等) 等の活用	ストラップ 型ヘルプ マークや ヘルプ カードの 周知・啓 発	各種障害 者に 関する マーク の周知・ 啓発	特にない	その他	無回答
全 体	568 100.0	191 33.6	87 15.3	65 11.4	61 10.7	91 16.0		43 7.6	144 25.4	45 7.9	48 8.0
身体障害	246 100.0	78 31.7	38 15.4	28 11.4	32 13.0	43 17.5		19 7.7	66 26.8	12 4.9	21 8.5
知的障害	409 100.0	150 36.7	63 15.4	46 11.2	41 10.0	66 16.1		30 7.3	92 22.5	39 9.5	36 8.8
精神障害	34 100.0	11 32.4	8 23.5	6 17.6	2 5.9	5 14.7		-	10 29.4	3 8.8	3 8.8
難病	43 100.0	16 37.2	3 7.0	5 11.6	9 20.9	10 23.3		6 14.0	8 18.6	2 4.7	2 4.7
無回答	12 100.0	1 8.3	-	2 16.7	2 16.7	-		-	6 50.0	1 8.3	2 16.7

(10) サービス利用について

問 44 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

「利用していない」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「自動車燃料券」の割合が 38.5%となっています。



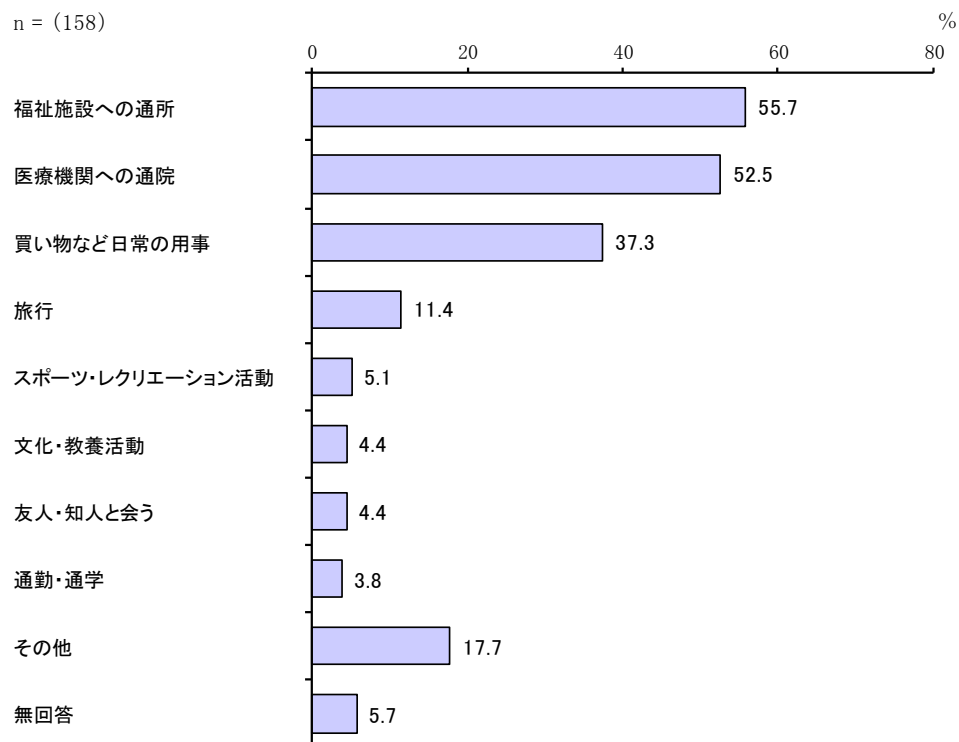
【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	福祉タクシー利用券(黄色券)	福祉タクシー利用券(水色券)	自動車燃料券	利用していない	無回答
全 体	330 100.0	22 6.7	9 2.7	127 38.5	161 48.8	11 3.3
身体障害	126 100.0	8 6.3	8 6.3	51 40.5	56 44.4	3 2.4
知的障害	260 100.0	14 5.4	3 1.2	101 38.8	136 52.3	6 2.3
精神障害	35 100.0	2 5.7	—	10 28.6	20 57.1	3 8.6
難病	7 100.0	1 14.3	—	2 28.6	3 42.9	1 14.3
無回答	6 100.0	—	—	2 33.3	2 33.3	2 33.3

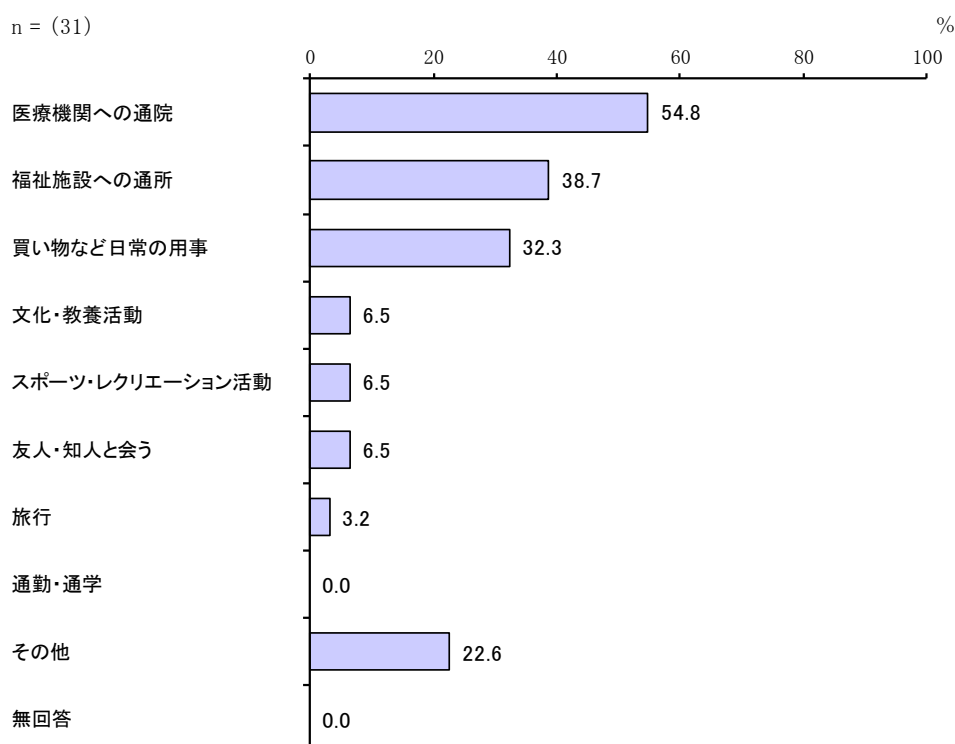
問 45 【問 44 でいずれかの券を利用している（１～３番）と回答した方におたずねします。】
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（〇はいくつでも）

「福祉施設への通所」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「医療機関への通院」の割合が 52.5%、
「買い物など日常の用事」の割合が 37.3%となっています。



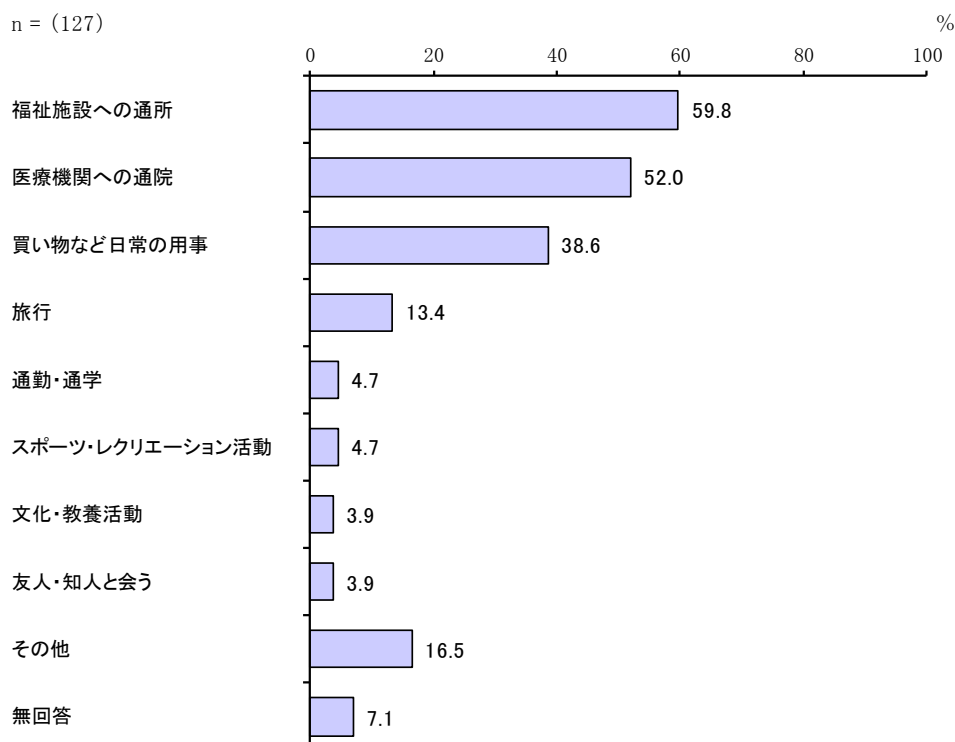
1. 福祉タクシーの主な使い道

n = (31)



2. 自動車燃料券の主な使い道

n = (127)



【障害種別】

1. 福祉タクシーの主な使い道

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他	無回答
全 体	31 100.0	- -	12 38.7	17 54.8	10 32.3	2 6.5	2 6.5	1 3.2	2 6.5	7 22.6	- -
身体障害	16 100.0	- -	4 25.0	12 75.0	6 37.5	1 6.3	1 6.3	- -	1 6.3	2 12.5	- -
知的障害	17 100.0	- -	9 52.9	7 41.2	4 23.5	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	5 29.4	- -
精神障害	2 100.0	- -	- -	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -
難病	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

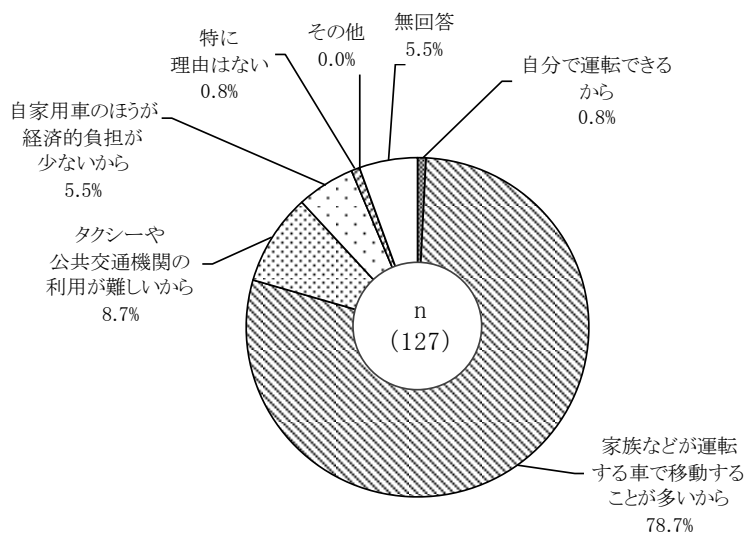
2. 自動車燃料券の主な使い道

単位 上段:件、下段:%

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他	無回答
全 体	127 100.0	6 4.7	76 59.8	66 52.0	49 38.6	5 3.9	6 4.7	17 13.4	5 3.9	21 16.5	9 7.1
身体障害	51 100.0	2 3.9	27 52.9	37 72.5	22 43.1	4 7.8	5 9.8	5 9.8	3 5.9	11 21.6	2 3.9
知的障害	101 100.0	4 4.0	62 61.4	50 49.5	44 43.6	4 4.0	3 3.0	15 14.9	5 5.0	17 16.8	6 5.9
精神障害	10 100.0	- -	6 60.0	5 50.0	7 70.0	1 10.0	- -	2 20.0	1 10.0	2 20.0	- -
難病	2 100.0	- -	- -	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -
無回答	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0

問 46 【問 44 で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方におたずねします。】
福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。
（○は1つ）

「家族などが運転する車で移動することが多いから」の割合が 78.7%と最も高くなっています。



【障害種別】

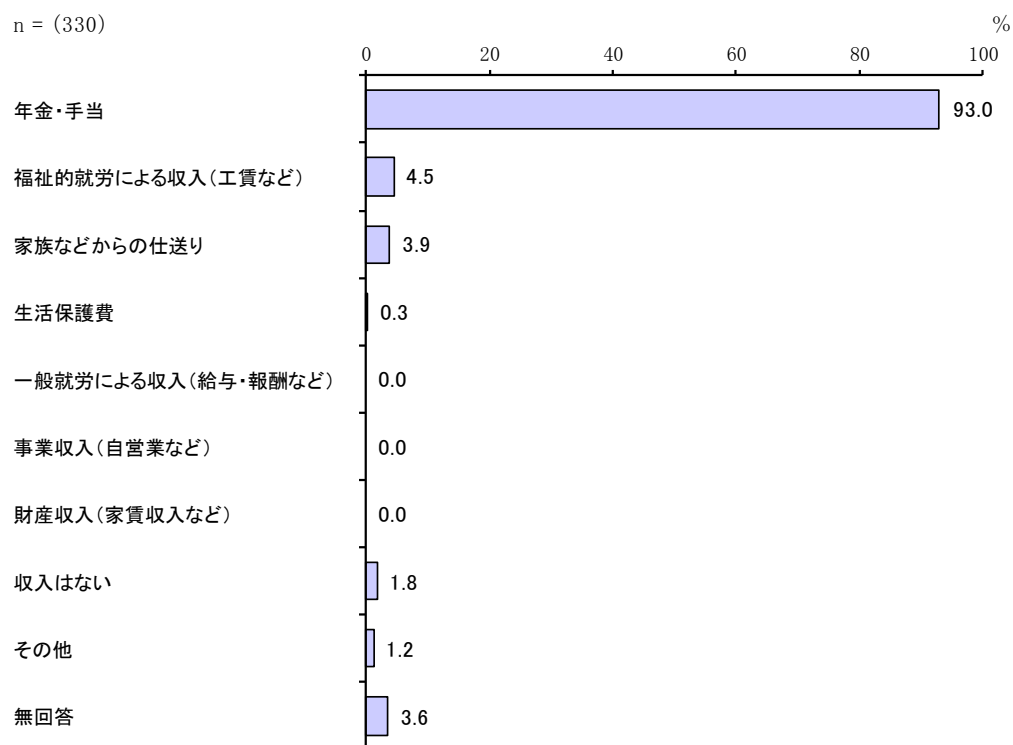
単位 上段:件、下段:%

	調査数	自分で運転できるから	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	127 100.0	1 0.8	100 78.7	11 8.7	7 5.5	1 0.8	-	7 5.5
身体障害	51 100.0	-	41 80.4	4 7.8	4 7.8	-	-	2 3.9
知的障害	101 100.0	1 1.0	79 78.2	8 7.9	6 5.9	1 1.0	-	6 5.9
精神障害	10 100.0	-	6 60.0	1 10.0	2 20.0	-	-	1 10.0
難病	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-
無回答	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-

(11) 収入や利用者負担について

問 47 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

「年金・手当」の割合が 93.0%と最も高くなっています。



【障害種別】

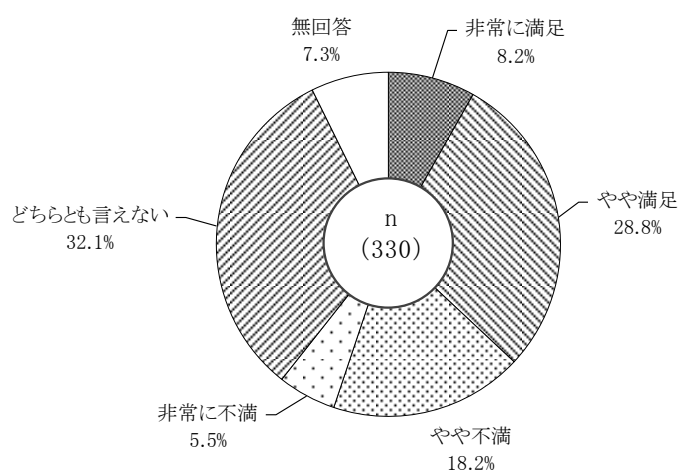
単位 上段: 件、下段: %

	調査数	一般就労 による収入(給与・ 報酬など)	福祉的就 労による 収入(工 賃など)	事業収入 (自営業 など)	財産収入 (家賃収入 など)	年金・手 当	生活保護 費	家族など からの仕 送り	収入はな い	その他	無回答
全 体	330 100.0	- -	15 4.5	- -	- -	307 93.0	1 0.3	13 3.9	6 1.8	4 1.2	12 3.6
身体障害	126 100.0	- -	3 2.4	- -	- -	118 93.7	1 0.8	6 4.8	3 2.4	2 1.6	3 2.4
知的障害	260 100.0	- -	12 4.6	- -	- -	244 93.8	- -	11 4.2	4 1.5	3 1.2	8 3.1
精神障害	35 100.0	- -	- -	- -	- -	33 94.3	- -	- -	- -	1 2.9	1 2.9
難病	7 100.0	- -	- -	- -	- -	6 85.7	- -	1 14.3	- -	- -	1 14.3
無回答	6 100.0	- -	1 16.7	- -	- -	5 83.3	- -	- -	- -	- -	1 16.7

(12) 障害者施策について

問 48 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「非常に満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 37.0%、「やや不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が 23.7%、「どちらとも言えない」の割合が 32.1%となっています。



【障害種別】

単位 上段:件、下段:%

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
全 体	330 100.0	27 8.2	95 28.8	60 18.2	18 5.5	106 32.1	24 7.3
身体障害	126 100.0	10 7.9	41 32.5	24 19.0	6 4.8	36 28.6	9 7.1
知的障害	260 100.0	19 7.3	68 26.2	51 19.6	15 5.8	92 35.4	15 5.8
精神障害	35 100.0	2 5.7	7 20.0	8 22.9	2 5.7	13 37.1	3 8.6
難病	7 100.0	—	4 57.1	1 14.3	—	1 14.3	1 14.3
無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	—	—	1 16.7	3 50.0

(13) 自由意見

問 49 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 90 件の意見がありました。

	分 類	件 数	割合 (%)
1	福祉サービス	21	23.3
2	医療・健康	5	5.6
3	生活環境	1	1.1
4	雇用・就労	0	0.0
5	将来について	11	12.2
6	経済事情・経済的支援	3	3.3
7	行政・制度	22	24.4
8	その他	27	30.0
合計		90	100.0

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

①福祉サービス

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
いつも大変お世話になっております。ありがとうございます。・娘が昔通っていた施設のボランティアに行かせてもらっていますが、制度（保育園や幼稚園と併用できたり）クラスも子供の能力に合わせ細かく分かれていたり、昔と比べてニーズに合ったサービスになったと感じます。ただ、千葉市はボランティアを行う人が少ないですね。残念です。・現在困っている事は、中年になった障害者の行く場所（休日など）があまりなく、ショッピングセンターをうろうろするしかありません。・老年期の障害者の方達がどう暮らしているのか情報が乏しく不安です（施設なのか、高齢者施設（特養）なのか）。	身体障害	30 歳代	女性	家族
障害者のグループホームが年々大型化し、まるで施設ようになって来た。報酬体系がそうさせているのは承知しているが、障害者には静かに生活する場は必要ないとでも云うのだろうか。4～5人で始まった頃の家庭の雰囲気のあった昔のグループホームが懐かしい。理念と実態が乖離して行く福祉の現実を見るにつけ、残念でならない。	身体障害	40 歳代	男性	家族
身体障害者施設に入所していますが、2人部屋なので、夜は隣の人が午後11時と午前3時頃、おむつ交換で天井の照明を点灯する為おこされます。私は午後12時近くまで吸引することがあります。二人とも生活パターンが異なるので、1人部屋のほうが良いです。	身体障害	60 歳代	男性	本人
福祉就労者の定着が良くないようで、入所者としては体の介護状態が分かってもらったと思ったころにはまた変わるという様な事がたびたび。介護職員の就労体制を考えて下さい。（施設によって違いがあるのでしょいか）給与の件も有るのでしょうか。	身体障害	40 歳代	男性	家族

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
施設職員の質の向上。防犯カメラ（居室）の設置の義務化。	知的障害	30 歳代	女性	家族
市内の知的障害者施設に入所しているが、毎週末帰省 2 泊、GW、夏期・秋期・正月休みが 5～9 泊あり、家庭での過ごし方に困っている。自宅への帰省をもっと短くして欲しい。あるいはヘルパーを使えるようにして欲しい。	知的障害	30 歳代	男性	家族
入所をしていても、移動支援のサービスを利用したい。	身体障害	40 歳代	男性	施設職員
入所施設を利用していますが毎週末ほとんど自宅に帰省していますが迎えに行くのが困難になりました。（目のおとろえ等）。送迎サービスをして下さると助かります。	知的障害	30 歳代	女性	家族
千葉市内往復 100 km 越えにはなりますが、そんな長距離の移動支援があるとありがたいです。本人の入所施設と自宅は 50 km の距離があり、親が動けないとき（ケガ、入院、高齢など）にそうげいをしてもらえるサービスがあると心強く、安心して生活できます。	知的障害	20 歳代	男性	家族

②医療・健康について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
医療体制の充実。数年前、本来ならば入院を必要とする病状となった際、障害があるからという理由で医療サービスを受ける事ができなかった。（市立病院…看護師の数が足りない、手がかかる人を受け入れられないと言われた）幸いにも命を落とすことはなかったが、この件で千葉市の障害者に対する医療体制に大きな不審感がうまれた。	知的障害	20 歳代	男性	家族
入所施設に夜間勤務、休日勤務の看護師の常駐をお願いしたい。入所施設利用者の外出支援が（有料でも可）利用出来る様にと希望します。施設内の活動以外にも楽しみがあるとよいのですが福祉事務所でもなかなかみつけてもらえず、親がつれ出せない年齢になると本人の希望もかなえること難しいのが現状です。	身体障害	50 歳代	女性	家族
知的障害者（障害者）専門（の日）の病院（内科、耳鼻科など…）があると安心して受診できる。	知的障害	30 歳代	女性	家族
障がい者施設に入っていましたが、肺炎になり、病院に入院している内に施設に帰れなくなりました。夜にも吸引をしてもらうのに夜の吸引する人がいないとの事で、こん回他のグループホームを見つけて入る事になりました。とてもショックです。一生涯居られると思っていたので。	身体障害	50 歳代	男性	家族

③生活環境について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
千葉県は交通機関が不便を感じる。病院やスーパー等に行くのにバスを利用しなければならないので、バス運賃（横浜市みたいに）モノレール運賃を無料化、とくに障害者が外出しやすい様にして欲しい。そうすれば病院等に行く時助かる。	知的障害	50 歳代	女性	家族

④将来について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
重度の知的障害、自閉傾向をもつ娘も年を重ね、同時に親の方も高齢になってきて、親亡きあとの娘の生活に不安をもっている。一人娘のため、現在入居している施設で暮らし続けること以外選択肢がない。親の後任の成年後見人を選定し、今後の金銭面等全てを依頼しているが、全面的に信頼できるか不安もある。質問5の項目での相談場所等の情報をよく理解していなかったのもう少し広報してもらえるとありがたい。（施設には聞きにくいこともある）	知的障害	30 歳代	女性	家族
現在入所している施設は終身ではないので、将来はまた施設を変わらなければならず、息子はずっとその心配をしています。・将来の不安は多くあります。	知的障害	20 歳代	男性	家族
親なき後は、グループホームでの生活になるかと・・・思います。母体のしっかりとした、“終のすみか”になる生活する場があれば・・・。	知的障害	30 歳代	男性	家族
施設が終のすみかになってほしい。現在病气入院した場合、その後の利用がむずかしい。現在の法律では出来ないのも、先法改正ですとずっと同じ施設で生活できれば良いと思う。	身体障害	40 歳代	女性	家族
障害者本人が高齢になった時、福祉サービスが充実しているか心配。	知的障害	20 歳代	女性	家族

⑤経済事情・経済的支援について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
障害なのでもう少し手当とかサービスこうじょうをより多く望みます…入所しても月額の金がかが高いいのではと思っています。	知的障害	40 歳代	男性	家族
年金が少ない。時々足りない時がある。	身体障害	20 歳代	男性	家族

⑥行政・制度について

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
行政への提出書類等は、年間を通して一度にまとめて、処理をしたい。・やさしいまなざし、何気ない手助けなどもっともっともっと心を寄せてほしい。・第三者委員の方の役目、任務が生かされていない。・時には私達家族の生の声を聞いていただく機会があればいいなあと思います。	身体障害	40 歳代	女性	家族
将来マイナンバーカードが健康保険証の代わりになるとの事だが、マイナンバーカードの受領手続きが知的障害者等が出来ない場合がある。本人が手続き出来ない場合は成年後見制度を利用すべきという事だが、マイナンバーカード受領の為に成年後見人を選定しなければならないのは負担が大きい。成年後見制度そのものも色々問題があるようで、すぐには成年後見制度を利用する気になれない。あまり利用価値のないマイナンバーカードなのに、手続きが障害者には大きな負担であり、もっと簡略なやり方に出来ないのか。（区役所に本人が行く事自体困難）	身体障害	20 歳代	男性	家族

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
条例や施策など、高齢者福祉用のものをそのまま知的障害者に転用していると思われるものが多くあります。両者は年齢も環境も性質もまったく別ものです。一緒に扱うのはやめてください。	知的障害	50 歳代	男性	家族
知的障害（重度）で何も出さず、付き添いによる生活が100%必要であるが、障害者としてのピンからキリまでがあり、重度の障害者に対する対応を考え直してほしい。	知的障害	40 歳代	女性	家族
最近車イスがほしくともなかなかOKしてくれなかったり、メガネやいろいろな日常生活用品へのしえんが少なくなっていまい、ほしいものが手に入りにくくなったので困っている。	身体障害	40 歳代	女性	本人
窓口である障害福祉課の案内が不親切。すぐ使いたいのに判定までに時間がかかり、サービス利用に関しても相談支援専門員を見つける所から始まり、時間がかかりすぎる。障害→介護保険になった時の対応がひどすぎる。施設を作らないとのことですが、重度の人の受け入れ先がなくなってしまう。親はいつまでも元気でいられない。地域で生活できる人ばかりでない。災害の時、避難できる場所がない。子どもは施設に入所できているので満足しているが、まわりの人や色々な方を見て感じたことを書かせて頂きました。	知的障害	20 歳代	女性	家族
保健福祉センター等の窓口担当者を増員してほしい。特に年に数回ある申請手続き時に感じます。	身体障害	60 歳代	女性	家族
親が亡くなって、兄弟姉妹の支援が受けられない場合、第3者の成年後見人だけだと不安。	知的障害	30 歳代	女性	家族

⑦その他

意 見	障害の区分	年齢	性別	回答者
千葉市のアンケート取り組みに敬意を表します。入所施設において、幅広い福祉サービスを受けられることに深く感謝申し上げます。将来の高齢化に向けて誰しも不安です。医療面の更なる充実をどうぞ宜しくお願い致します。	知的障害	40 歳代	男性	家族
障害を持っている人が多くの人と接する機会を継続して広報する。又、小中学生の児童、生徒が障害者が日常どのように生活し活動しているかを知ってもらうため、学校での授業を取り入れることを広めていくこと。	身体障害	30 歳代	女性	その他
入所施設は通過施設ということは理解しても、そして後に続く若者の教育・訓練の場をゆずらねばと思っても、グループホームの数の少なさ、受皿の無さに行きばをさがしてもがいております。スムーズに流れるような施設の充実が実現してくれる事を願います。	知的障害	40 歳代	男性	家族
障害者に知的障害者を並べるのは無理がある。身体障害は思考力、判断力は健常者とはほぼ変わりません。知的障害者は正常な判断が出来ません。	知的障害	70 歳代	男性	家族
障害者を一人の人間としてすきにさせておける場所がない。目がいくつあってもむづかしいと思う。	知的障害	40 歳代	男性	不明

